

1 受託団体名	多摩市音訳グループ繭	代表者名	銭廣 芳子
2 委託部名	議会事務局	委託課名	議会事務局
3 事業名	声の議会報作成・郵送業務委託		
4 事業概要	視覚障がい者用広報「声の市議会だより」として、「たま市議会だより」の内容をCDに録音・複製して希望者に郵送する。		
5 事業の目的	情報の共有化を図り、市議会及び市政への参画を促進する。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ 特命随契 その他
8 決算額	117 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

IV 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	市議会の様子を伝える「たま市議会だより」は、多摩市民として行政に関わっていく上で重要な役割を果たしている。視覚障がい者にも同じ情報が共有できるよう、今後も分かりやすい録音図書作成を心がけていきたい。				
<所管課自由記入欄>					
4	例年どおり受託団体と委託課との懇談会を設け、課題の共有や意見交換を行った。本事業における検討・調整を必要とする課題は無く、引続き視覚障がい者への情報の垣根が無くなるよう本事業を実施していく。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

議会事務局次長

1 受託団体名	多摩市音訳グループ繭	代表者名	銭廣 芳子
2 委託部名	企画政策部	委託課名	秘書広報課
3 事業名	声の広報作成及び複製・郵送業務委託		
4 事業概要	毎月(5日または1日・20日)に発行の「たま広報」の内容を音訳しCDに録音して、「声のたま広報」を作成し、希望する視覚障がい者へ発行日に合わせて郵送する。		
5 事業の目的	情報の共有化を図り、市政への参画を促進する。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	804 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	「たま広報」は多摩市に関する日常生活に関わりの深い情報が満載されています。その情報を文字の読み取りが不自由な方でもたやすく得ることが出来るよう、今後も、正確で分かりやすい「声のたま広報」の作成を心がけていきたいと思ひます。				
<所管課自由記入欄>					
4	例年どおり、受託団体と委託課との懇談会を設け、利用者要望の有無、課題、利用者拡大に向けたPR方法の検討などの意見交換を行った。引き続き視覚障がい者への情報の垣根が無くなるよう本事業を推進していく。引き続き利用者拡大に向けて、たま広報最終面へ、毎号PR文章を掲載する。また、周知の方法についても相互で検討しながら、より多くの方に利用していただけるように努めていく。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

秘書広報課長

1 受託団体名	喫茶れすと	代表者名	所長 北山 文子
2 委託部名	企画政策部	委託課名	秘書広報課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託		
4 事業概要	市が出版した有償印刷物を市内の各拠点で販売することにより、市民サービスの向上および収入の確保を図る。		
5 事業の目的	市政の情報提供・収入の確保		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input checked="" type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	1 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	多摩市に転居された方が、地元となる周辺の地域を知るために、ふるさとマップを購入いただいているので、お店としてもよい印象を持っていただけるように心がけています。				
<所管課自由記入欄>					
4	永山駅周辺で、ふるさとマップを販売しており、市民サービスの向上につながっている。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

秘書広報課長

1 受託団体名	(社福) 多摩市社会福祉協議会	代表者名	会長 伊藤 雅子
2 委託部名	企画政策部	委託課名	秘書広報課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託		
4 事業概要	市が出版した有償印刷物を市内の各拠点で販売することにより、市民サービスの向上および収入の確保を図る。		
5 事業の目的	市政の情報提供・収入の確保		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	6 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市との連携により、適正かつ迅速に実施できました。				
4	<所管課自由記入欄>  聖蹟桜ヶ丘駅周辺で、ふるさとマップ等を販売しており、市民サービスの向上につながっている。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

秘書広報課長

1 受託団体名	(特非) 多摩市身体障害者福祉協会 売店ひまわり	代表者名	理事長 勝手 春幸
2 委託部名	企画政策部	委託課名	秘書広報課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託		
4 事業概要	市が出版した有償印刷物を市内の各拠点で販売することにより、市民サービスの向上および収入の確保を図る。		
5 事業の目的	市政の情報提供・収入の確保		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	39 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市役所に来庁された方が、庁内で各種資料を購入することで、お客様のニーズに応えられていれば幸いです。				
4	<所管課自由記入欄>  多摩市役所内に当受託団体があるため、来庁者の需要が多く、市民サービスの向上につながっている。 また、郵送サービスを行っているため、市外の需要にも対応している。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

秘書広報課長

1 受託団体名	公益財団法人 多摩市文化振興財団	代表者名	代表理事 浪久 圭司
2 委託部名	企画政策部	委託課名	秘書広報課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託		
4 事業概要	市が出版した有償印刷物を市内の各拠点で販売することにより、市民サービスの向上および収入の確保を図る。		
5 事業の目的	市政の情報提供・収入の確保		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	2 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>特にふるさとマップは歴史ミュージアムをご覧になったお客様が街を歩きたいと思われた場合に重宝されているようであり、とても良く売れている。価格的な満足度も高い。ニーズが高く、当館で販売する相乗効果も高い商品と考えている。ただ、新たに転入してきたお客さまなどから「どこで売っているのか」という問い合わせも依然としてある。欲しいお客様に確実に販売できるように、当館でもより販売場所の周知につとめたい。また、次年度は当館が大規模改修のため休館になることから、今後の販売方法やご案内方法を年度内に確認しておきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>多摩センター駅周辺でふるさとマップ等を販売しており、市民サービスの向上につながっている。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

秘書広報課長

1 受託団体名	NPO法人シーズネットワーク		代表者名	岡本 光子	
2 委託部名	市民経済部		委託課名	経済観光課	
3 事業名	市内農産物及び特産品販売促進業務委託				
4 事業概要	多摩市の農産物応援サイト「agri agri」の運営と、生産者と市民の交流事業の実施により、市内農産物と特産品の販売促進を図る。				
5 事業の目的	多摩市の農業をインターネットツールや交流事業の実施により周知し、農産物等の販売促進と都市農業振興に寄与する。更に、「食」「食育」への意識の高まりを踏まえ地産地消の推進を図る。				
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3	レ	その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ	特命随契	その他
8 決算額	3,672 千円				
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日				

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ	はい	レ	はい
			どちらかと言えば はい		どちらかと言えば はい
			いいえ		いいえ
			どちらかと言えば いいえ		どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ	はい	レ	はい
			どちらかと言えば はい		どちらかと言えば はい
			いいえ		いいえ
			どちらかと言えば いいえ		どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>当該事業は6年度目となり、市の所管課はもとより、JA、市内生産者・事業者など多方面からご協力を得て、安定的に運営できている。当年度も、近隣の食品販売事業者、飲食店などから「多摩市産の野菜を使いたい」というご相談があり、イベント等で単発で調達したり、お取引の仲介的な役割を担ったりした。</p> <p>交流事業としては、春に5回目となるいちご狩り体験、秋に旧加藤家で市内産の新米と豚汁を楽しむ会、年度末には多摩市消費生活センター調理室で地場野菜を使った「多摩市の新特産野菜!?アスパラガスと健康トマトでおいしいランチを作って食べよう！イベント」を実施し、市民と生産者の方々に喜んでいただけた。</p> <p>また、例年通り「たま食育フェスタ」にブース参加した。今年度は「特産品が当たるかも!? 多摩市のお米クイズ」と題して、小学生から高齢の方までたくさんの方に参加していただき、インターネットの活用のみでは告知できない層に対してもPRを行うことができた。</p> <p>この事業の成果は、アンテナショップPonteを始めとする市内農産物・特産品販売の現場への大きな後押しになっていることを日々実感している。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>運営団体であるNPO法人シーズネットワークとの協働で運営するアンテナショップ「ポンテ」では、市内農産物や地域の特産品を販売しており、消費者と生産者を結びつけることで、都市農業の理解・振興に大いに役立っている。「多摩市農産物応援サイト・agri agri (HP・フェイスブック・ツイッター・インスタグラム・ブログ)」では、運営団体が、日頃から培った市内農業生産者や消費者との関係を活かし、双方の立場を理解し、多様な地域の農業情報や生産者の生の声などを頻繁に更新し、市内農業の現状を広く発信することが出来た。また、市民と生産者による交流事業の実施では、市内で収穫した農産物を素材とした料理を参加者が作り、生産者を囲んで食事することで、消費者の農業への親近感や地場野菜への理解が深まり、地産地消が促進される事業となっている。今後更なる事業の充実により、一層の農業振興が図られるものと思われる。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

経済観光課長

1 受託団体名	たまロケーションサービス	代表者名	柴田 孝司
2 委託部名	市民経済部	委託課名	経済観光課
3 事業名	フィルムコミッション運営業務委託		
4 事業概要	多摩市内で行われるテレビや映画などのロケ撮影に係る相談、受付、事前調査、立会い業務等のフィルムコミッションの運営		
5 事業の目的	ロケ撮影支援をすることにより、施設の有効利用などの直接的な地域経済の活性化、多摩市のシティセールス、市民の「わがまち意識」の向上などを目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	5,400 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>平成30年度は、たまロケーションサービス設立10周年の節目の年でした。長年の懸案事項であった市からの委託料増もやっと実現し、次なる11年目以降の活動基盤を整えるべき重要な年と位置付け、その観点に立って、諸活動を推進してきました。以下、各項目ごとに成果を整理してみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●【受け入れ体制の強化】予算の増額により、窓口業務の複数担当制が可能になり、受け入れ基準判断の検討や、自主制作/学生等の対応に時間が割けるようになりました。また、HP等での情報発信もよりきめ細かくできるようになりました。</li> <li>●【ロケ受け入れ実績数と分析】年間を通してのロケ受け入れ実績は、昨年度実績からやや微増の150件、しかしながら、1件当たりのロケ地数、複数日実施は減少しボリューム感がやや乏しい感が否めない感がします。</li> <li>●【ロケ地ニーズの傾向】相変わらずロケ地ニーズの傾向は、40%前後が学校関係で、このキーニーズの供給ができるか否かで、他の関連ニーズ(公園、道路、公共施設、病院、etc)の商品価値を決まる傾向は否めない。商品としてのキーロケ地(学校)の価値を高める戦略のもと、他のロケ地と合わせた複合商品化(点→線→面展開)を進めることにより、個々のロケ地の商品価値を高め、ロケ誘致を有利に進める必要がある。今後のFC活動は市とFCが一体となった総合的なシティセールス展開が最重要課題である。</li> <li>●【従来型メディア比率の漸減傾向】この10年の趨勢として、従来型メディア(地上波テレビ、映画、TVCM、etc)の作品の漸減傾向が進み、50%を切りました。昨年度の業界の事業収入実績予測でも、従来型メディアに対し、インターネット関連がついに逆転する節目の年度になった、とされています。この事実は、業界の熾烈な作品作りの競争を生み、勢い、ロケ地確保、制作期間、制作コスト、etcの面でFC活動に影響を及ぼしてきており、昨年度のたまロケの事業収入に具体的な数字で表れてきております。私たちの置かれている都市型FCが、これから10年という長いスパンで、どうあるべきかという重い課題を抱えての11年目のスタートとなります。</li> <li>●【10周年記念事業】2019年2月17日にたまロケ設立10周年記念事業を開催致しました。記念映画上映会(ベルブホール)で上映した「一週間フレンズ。」は、2017年公開の日野市・多摩市を舞台とした映画で、両市FCでオリジナルロケ地マップも制作しました。来場者は150名と満席の盛況でした。また同日には、関係者による記念パーティー(永山情報教育センター)を催し、約60名もの多くの方にご参加頂きました。</li> <li>●【今後の展望】設立以来、波瀾万丈、紆余曲折の10年でありましたが、この10年の実績、経験、等の全てを貴重な財産として、次なる10年のたまロケの活動に生かすべく、新しい11年目のスタートを切ります。</li> </ul>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>これまで、受託団体のたまロケーションサービスでは代表者以外に知識と経験のある専門的な人材がおらず、代表に業務が一極集中するなどの厳しい状況を踏まえ、平成30年度から委託費を増額した。平成30年度は、ロケを取り巻く環境の変化などの影響もあり、ロケ撮影実績など数値での具体的効果は現れていないが、人件費相当分を増額し、実際に活動できる人員を確保できたことで、ロケ地ツアーの実施、ホームページリニューアルの検討、ひの・たま観光連携事業への参加など、通常のロケ受入業務以外にも力を入られる環境になり、徐々に組織の運営体制を安定化させつつある。</p> <p>また、受託団体では、市民向けイベントへ積極的に参加し活動内容やロケ地をPRしたり、独自のイベントを企画し会員間の交流を図ると共に、人材の発掘及び育成を推進するなど、多摩市のフィルムコミッションの認知度と質を高めるべく活動している。今後も市民のわが街意識の醸成とロケ地を通して市の魅力を内外へ広く発信するためには、市と受託団体で一体となり事業に取り組む必要があるため、今後も継続して市民協働で事業を進めていく。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

観光担当課長



1 受託団体名	関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会	代表者名	片倉 満
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,859 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>改修したことにより利用団体が増えています。ロビーが広くなり事業の幅も広がりました。コミュニティセンターで重要な地域住民が集える場の提供という役割は、十分に果たせる環境が整ったと思います。結果としてロビーを利用される方が一段と増え、特に子供たちの利用が多くなりました。市が推奨している世代間の交流も少しづつ増えています。</p> <p>30年度はコミュニティ・生活課と相談を繰り返しながら地域団体と様々共催し、新しい事業にチャレンジしました。新しい事への不安を感じながらもコミュニティ・生活課の後押しで1歩を踏み出せました。</p> <p>次年度は更に培った経験とチャレンジ精神で、所管課と協議を重ねながら事業の充実を図っていききたいと思います。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。改修工事によってご迷惑をおかけしたと考えております。地域住民が集える場としてより積極的に新しい活動に取り組んでいただき、より多くの方が集える環境を作っていただいております。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	代表者名	篠崎 博哉
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,264 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会は、4期目の指定管理者として、市からの受託業務を滞りなく遂行した。「豊かな生活、住みよい環境、より高い文化に恵まれたコミュニティの創造」を目指して運営協議会が発足して以来28年が経過し、地域住民の世代交代も進む中で、当協議会は常に地域住民のニーズを把握しながら、世代を超えて、地域の人と人の繋がりを強化するために、桜ヶ丘地区4自治会、ファインコート聖蹟桜ヶ丘自治会や桜ヶ丘児童館と連携しながら、様々な事業を行ってきた。</p> <p>すでに地域の一大行事として定着している「ゆう桜ヶ丘夏まつり」や防災訓練を地域自治会と、ひな祭り、端午の節句等の季節行事や世代間交流事業を桜ヶ丘児童館と手を携えながら、実施してきた。また、原峰公園及びゆう桜ヶ丘ギャラリーで実施する野外展は、地域在住の芸術家や多摩中学校の生徒も参加し、秋の恒例行事として定着してきている。</p> <p>さらには地域から国際友好の輪を広げるために、各国の在日大使館の協力のもとに毎年開催している「国際交流」も、すでに38ヶ国を迎え、それぞれの国の政治、経済、文化、スポーツ等々についての話題や、民族音楽や舞踊、料理を楽しむことを通じて、ゆう桜ヶ丘独自の行事として、多くの地域住民の参加のもと、実施されている。</p> <p>また桜ヶ丘地域は住民の高齢化が顕著であると同時に若年層の転入もあることから、桜ヶ丘児童館、社会福祉協議会、西部地域包括支援センター、桜ヶ丘いきいき元気センター等の協力のもと、乳幼児から高齢者までが集える場として「カフェゆう」を開設し、地域の月例行事として定着してきている。</p> <p>30年度に新たに開始した事業として、多摩市共催、多摩市教育委員会後援のもとに実施した「平和展」がある。「未来を生きる子供たちへ」をサブタイトルとして、「サダコと折り鶴」のパネル展示(広島平和記念資料館)と市内在住の被爆者の体験談、多摩市「子ども被爆地派遣事業」への参加経験者の話、そして市在住のシンガーソングライターによる平和への思いを込めた歌の披露を内容とした集いを開催した。</p> <p>広報誌「さくら通信」やホームページを通じての情報発信を、一人でも多くの住民が、当コミュニティセンター運営協議会の活動を知り、身近に感じ、参加する意欲を醸成することを目的として実施している。</p> <p>今後も様々な活動を通じ、地域住民の交流を深めるとともに、コミュニティ活動の拠点として愛され、利用されるよう、桜ヶ丘地区のまちづくりに貢献できる活動を実施していきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。「ゆう桜ヶ丘夏まつり」と「国際交流」といった事業の実施だけでなく、30年度は「カフェゆう」や「平和展」といった新しい事業を行っていただき多くの地域住民の活動の場にしていただきました。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会	代表者名	伊野 正美
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,517 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>当運営協議会は、下記に示す運営理念と運営スローガンに基づき、運営委員および地域の方々の協力で、地域の伝統文化を継承し季節感溢れる事業を企画・実施、多くの地域住民の皆さまに参加いただき、三世代の活発な交流が図られています。</p> <p>【乞田・貝取ふれあい館の運営理念】</p> <p>①乞田・貝取ふれあい館を住民による地区活動拠点とします。 ②地区の福祉の増進と文化の向上に寄与します。 ③地区住民の親睦を深め地区住民相互の信頼に基づく連帯感豊かな地域社会を形成します。</p> <p>【運営スローガン】</p> <p>～集い、学び、憩う三世代～ ふれあい館</p> <p>一方で、当館は開館以来28年を経過しており、施設、設備の一部老朽化により利用者にご不便をおかけすることがあります。館そのものが乞田・貝取ふれあい広場公園内に建てられていることから種々の制約を受けることもあり、利用者のご要望に十分応えられない状況も発生しています。 これらの問題は将来の大規模改修に向けた課題として、利用者、地域住民および市との間で深く論議、意見交換しながら、よりよき地域住民の為の拠点となるように工夫をしまりたいと考えております。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。地域の伝統文化を継承し季節感溢れる事業を行っていただき、世代を超えた多くの地域住民が募る活動、交流の拠点となっています。公園内に建てられていることからご迷惑をおかけすることもございます。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会	代表者名	山田 祐子
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 <input checked="" type="checkbox"/> その他
8 決算額	16,607 千円		
9 契約期間	平成 29 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  平成30年5月にトムハウス大規模改修計画の通知を受けた運営協議会は、驚き戸惑いながらも対応に取り組み始めました。利用者に向けたアンケートでは70件ほどの回答をいただきました。説明会は利用者懇談会、地域住民、児童館利用者など多くの人々、団体に向け開催しました。ここで改めてトムハウスの存在の大きさを感しました。運営協議会会員が真剣に取り組む姿勢に表れています。1992年開館の歴史と経験を踏まえて管理運営にあたってまいりました。無事にそして適正に遂行できてことに感謝しています。改修では今後30年を見越しての計画とのこと、運営協議会は責任の重さに押しつぶされることのないよう支えあいながら進めてまいります。よろしく願いいたします。				
4	<所管課自由記入欄>  地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。鶴牧・落合・南野コミュニティセンターは事業等を通じて地域の活動拠点となっております。また本年度は大規模改修工事に向けて地域への説明等、主体的に取り組んでいただきました。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	貝取コミュニティセンター運営協議会	代表者名	中嶋 孝彦
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,848 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>貝取コミュニティセンター(貝取こぶし館)は、創立24年となりました。 例年同様6月には2日間にわたり「文化祭」を、7月はこぶし館ホールで理事・監事、委員・協力員、スタッフ29人が参加し「合同研修会」を行いました。 9月には「カラオケ交流会」を開催、31団体から81人の出演をいただき、特別ゲストとして地元出身のプロ歌手を迎えて盛大に実施することができました。 更に11月には天候にも恵まれ大勢の来館者で模擬店の売れ行き好調な中、「こぶし館まつり」を盛大に実施しました。 この間、ジャズコンサート、バロック音楽等をロビーにて開催、毎回100人以上の来場者でにぎわいました。 子どもから高齢者まで、幅広い年代を対象とした各種の事業を、季節に合わせて計画し実施しています。 各事業は、地域の小学校から高校・大学、児童館、公民館、地域包括支援センター、その他地域団体の協力のもとに行いました。 広報紙「こぶし館だより」は毎月1日に発行し、約8,000部を地域各戸に配布し、開催する事業などをお知らせしています。 また、ホールのテーブル・椅子の更新、音楽室のAV機器を最新のものに交換するなど、より利用しやすいコミュニティセンターを目指しています。 地域の人たちに終日くつろいでいただく場として、ロビーなどのフリースペースについても最適な憩いの場となるよう努めています。 次年度も様々な事業を計画し、地域の学校、団体、組織などと連携し、その活動にも協力を図ります。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。「文化祭」「こぶし館まつり」「カラオケ交流会」を始めとして多くの事業を行っていただき地域の憩いの場になっております。館の設備等にも気を配っていただき、より利用しやすいコミュニティセンターに向けて取り組んでいただいております。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	代表者名	青木 智子
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,888 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>ひじり館では以下の行事を通じて市民同士のコミュニケーションを図るとともに、地域コミュニティの醸成に貢献しています。</p> <p>1. 周辺の市立小学校、中学校、多摩桜の丘学園及び私立中等高等学校との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども夏祭り、ひじり館まつり</li> <li>・おにぎりを握って食べよう</li> <li>・桜の丘学園食品販売・清掃作業</li> </ul> <p>2. 近隣自治会、管理組合等との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども夏祭り、ひじり館まつり</li> <li>・楽唱祭、懐メロを歌う交流会</li> <li>・ひじり館音楽祭</li> <li>・ミニマラソン、ニュースポーツ体験会、地域ハイキング</li> <li>・野鳥観察会、自然観察会、椎茸栽培体験</li> </ul> <p>3. ひじり館単独事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじり映画会、子ども映画会</li> <li>・Jazz, クラシック、軽音楽等のコンサート</li> <li>・寢床寄席</li> <li>・ミニミニデイサービス</li> <li>・季節の飾りつけ(正月・三月・五月・七夕・クリスマス)</li> </ul> <p>4. その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじり落研寄席</li> <li>・元気アップ体操</li> <li>こどもとシニアの囲碁教室</li> <li>・定期囲碁大会</li> <li>・シニアのためのスマートフォン教室</li> </ul> <p>上記事業は、主としてひじり館広報紙ひじりCANを通じてコミュニティに伝えています。 以上</p>					
<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。聖ヶ丘コミュニティセンターについては多くの行事を実施する中で、地域の大学や小中学校と連携、子ども向け事業の計画・実施に取り組んでいただきました。また複合館として図書館や学童クラブが併設されており、多様な世代、様々な利用者が集う地域の活動拠点となっています。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	愛宕コミュニティセンター運営協議会	代表者名	武田 昭(～5/12) 中村 義彦(5/13～)
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,764 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>愛宕かえで館(愛宕コミュニティセンター)は、開設以来今年で19年を迎えます。開設以来、主に地域住民の交流事業を展開し、地域コミュニティの醸成に貢献してまいりました。ご協力を頂いている団体は、自治会・管理組合・あたご地区自治連合協議会・各諸機関等で、主な行事は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●文化教養関連事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいきシニアサロン」を、多摩市公民館(永山・関戸)との共催事業として年2回開催。</li> <li>・「親子で参加」「日本文化を学ぼう」をテーマに、七夕飾り作りや多摩そば作り等を年3回開催。</li> <li>・「フラワーコンサート」「サマージョイントコンサート」「かえで館落語寄席」等々の開催。</li> </ul> </li> <li>●健康福祉関連事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連続健康講座」を、あいクリニック・北部地域包括支援センターとの共催事業として年3回開催。</li> <li>・「簡単ストレッチ・ヨーガ教室」「ノルディック・ポール・ウォーキング」等々の開催。</li> </ul> </li> <li>●後援関連事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東愛宕中学校吹奏楽部卒業記念コンサート」の後援。</li> <li>・主にかえで館を拠点とするカラオケ団体による「カラオケ発表会」の後援。</li> </ul> </li> <li>●その他の事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・かえで館利用者の要望・意見などを運営に反映するため、「利用者懇談会」を年1回開催。</li> <li>・主にかえで館を拠点とする各種団体、多摩市社会福祉協議会、介護・医療機関等々が参加し、地域との交流を深める「かえで館まつり」を開催。</li> <li>・「菜の里」有志が毎月8の日(月3回)を作業日とし、野菜を栽培・収穫し、行事のある時に提供。また、来館者に廉価で販売。</li> <li>・広報紙「かえでニュース」を、毎月1回カラー刷りで発行。</li> </ul> </li> </ul>					
<所管課自由記入欄>					
4	<p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。自治会・管理組合・あたご地区自治連合協議会・各諸機関等といった地域住民の交流事業を行っていただいています。精力的な活動に加えて、館の広報誌である「かえでニュース」によって広く周知していただいているおかげで地域のコミュニティ活動が大いに盛り上がっています。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	唐木田コミュニティセンター運営協議会	代表者名	河本 博治 (~5/11) 高橋 重夫 (5/12~)
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	16,773 千円		
9 契約期間	平成 29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>1、平成23年4月1日、からきだ菖蒲館が開館し指定管理者として貸室業務を中心とする施設管理業務と地域コミュニティ醸成に資するため事業活動を展開して参りました。運営委員・協力員をはじめ地域住民、関係者のご協力とご支援により順調な発展を続けております。</p> <p>2、30年度は、33事業、264回のイベントを開催し参加者は11,484名となり、イベントは年を追う毎に充実しています。なかでも最大のイベントとして毎年開催しております運営協議会、図書館、児童館との共同開催の「からきだ菖蒲館まつり」は、2日間で6,300名もの来館者で賑わいました。また、開館年度にスタートした地産地消の「日曜朝市」(毎月1回)は、新鮮な地場野菜が人気を呼び、毎回100名前後の買物客があり名物イベントとして定着しております。その他にもコンサート、映画会、落語会、ウォーキングなども好評を博し、また、利用者懇談会、地域連絡会、高齢者食事会、花いっぱい運動、広報誌の発行など広範な活動を展開して参りました。</p> <p>3、「からきだ菖蒲館」は、コミュニティセンターを中心に図書館、児童館との複合施設として各種の機能が調和し、いつでも「話」がはずみ、人々の「輪」が広がることを願い、三つの“わ”「和・話・輪」を基本理念とし、引続き地域住民に愛され、親しまれるコミュニティセンターを目指して努力して参ります。</p>					
<所管課自由記入欄>					
<p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。「日曜朝市」を始めとして、非常に多くの事業を実施していただいております。特に「からきだ菖蒲館まつり」は地域一帯となって非常に多くの人々が集う一大行事となっております。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みながら、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長



1 受託団体名	和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会	代表者名	千葉 胤昌
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	コミュニティ・生活課
3 事業名	コミュニティセンター指定管理委託		
4 事業概要	コミュニティセンターの管理運営を、地域住民による運営協議会に指定管理者として業務委託し、市民による市民のための施設運営を行う。		
5 事業の目的	市民に開かれた地域活動の拠点として、様々な市民同士のふれあいと交流を生み出し、地域コミュニティの醸成を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	15,520 千円		
9 契約期間	平成 30年 1月 4日 ~ 令和 2年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>和田・東寺方コミュニティセンター(愛称:大栗川・かるがも館)は、平成30年2月に開設された、多摩市内9番目の新しいコミュニティセンターです。地域の有志によるボランティア団体である「和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会」が、市の指定管理者として、当コミュニティセンターの管理運営と地域コミュニティの醸成に貢献すべく事業活動を行っています。当協議会はこの地域に暮らす人たちにとっての『街のリビングルーム』として世代を超えた交流の場をつくるという想いを大切に、この館を運営しています。</p> <p>最大のイベントである「第1回かるがも館まつり(昨年11月10日～11日開催)」は、ほとんど経験のない中、手探りで準備を進め、運営協議会メンバーの献身的な努力により本番を迎えることが出来、予想をはるかに上回る約2000人の来場者で賑わいました。来場者の大半はこの地域に居住する住民であり、この地域のコミュニティセンターとして十分役割を果たせたものと自負しています。</p> <p>また、開館当初は低迷していたコミュニティルームの利用率も今では20%台を確保出来るところまで伸びてきています。さらにロビーをはじめとするオープンスペースについては、終日、大人は勿論ですが、学童、学生など若い世代で満ち溢れ他館では見られない特徴の一つとなっています。</p> <p>運営協議会専門部では次のような事業を行い、地域住民とのコミュニティ醸成を図ってきました。</p> <p>文化部は郷土史講座を8回(延135名参加)、落語会(3回で延140名参加)、お化け屋敷や理科実験(延140名参加)、映画会(3回で延75名参加)、コンサート(2回で延152名参加)。健康福祉部では多摩市、社協、西部包括センターと協力して、かるがも館祭りにおいて健康関連イベント(骨密度測定、血管年齢測定)を実施。環境部では夏の虫捕り(カブト虫、くわがた)や七夕飾り付けを実施。広報部は広報誌「かるがも君」を臨時号を含めて7回発行。</p> <p>また全館行事として、「RUN伴」に参加、たすきリレーの聖蹟桜ヶ丘コースの出発点となり、応援含め49名がオレンジ色のTシャツや旗をもって参加しました。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>地域に根ざした事業の企画、運営をすることにより地域コミュニティの醸成に積極的に取り組んでいただきました。和田・東寺方コミュニティセンターは多摩市内で一番新しいコミュニティセンターですが、かるがも館まつりを始めとして、多くの事業を行っていただきこの地域に暮らす人たちにとっての『街のリビングルーム』として世代を超えた交流の場を作っていただいております。今後もコミュニティセンターの管理運営の問題点や課題を共有し課題解決に取り組みなから、運営協議会と引き続き協働し、地域コミュニティの形成を図っていきます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

コミュニティ・生活課長

1 受託団体名	特定非営利活動法人 子育て応援団そらいろのたね	代表者名	山口 圭子
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	TAMA女性センター
3 事業名	講座開催に伴う保育業務委託		
4 事業概要	講座開催時における保育業務及び親子等参加事業における保育業務		
5 事業の目的	講座開催時に保育を実施し、子育て期の女性が講座に参加しやすい環境を整備するとともに、親子参加事業等での保育を通じた子育て支援を目的とする。		
6 募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input type="checkbox"/> 指名選定※3
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input checked="" type="checkbox"/> 見積競争	<input type="checkbox"/> 特命随契
8 決算額	173 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>保育時間中、子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう、できるだけ環境整備に努め、保育を担っている。保育を通して子育て期の母親の学習や社会参加を応援することは私たちの活動の目的でもあります。今後とも担当者と連携してよりよい形で協働できるよう努めたい。保育を利用する3歳未満児が遊べるおもちゃなどについても今後担当者と連携して子どもたちが楽しく過ごせる保育室になるようやりとりしていければと考えています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>本事業は、市内で保育業務を取り扱っている団体へ見積り合わせを行うことにより受託団体を決定している。当該受託団体は、日頃から事業の目的を市と共有し、運営の工夫や安全面への配慮を通じて、子育て期の女性が講座に参加しやすい環境を整備することに寄与している。今後も、子育て期の女性が子どもを安心して預けて講座等に参加できるよう連携を深め、効果的な協働を進めていく。 なお、保育室の玩具に関しては、受託団体及び関戸公民館と調整しながら、引き続き適切な保育環境の維持に努める。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

TAMA女性センター長

1 受託団体名	多摩市国際交流センター	代表者名	加藤 晃章
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	文化・市民協働課
3 事業名	外国人支援業務委託		
4 事業概要	外国人向け初級日本語教室の開催、外国人向け生活相談の開室及び外国語月刊生活情報紙の発行業務を委託する。		
5 事業の目的	多摩市在住、在勤、在学の外国人を対象に生活支援事業を行い、生活の利便を図り、多文化共生社会を目指す。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	2,118 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>多摩センター1クラス、永山1クラス、桜ヶ丘3クラスと1週間に5クラス、各クラス年間33回の日本語教室が今年度も開催された。1回2時間の勉強は外国人学習者の日本語レベルにより、それぞれのボランティアが様々なテキストを使い対応している。2018年度の各クラス合計の外国人学習者は249人であった。相変わらず中国の方が100人近くを占めるが、ベトナム、フィリピン、アメリカの学習者も多い。ボランティアは74名、加えて永山クラスで学習者の保育の方が3人いる。</p> <p>2018年度も外国人向け情報誌「HAND in HAND in TAMA」を外国人市民に配布していただいたこともあり、初めて日本語教室を知って学習を始める人も多い。日本語セミナー部では平時の学習の他に、外国人に対して様々な行事があり、今年度はTIC25周年と国際フェスタ2018の開催の中で「外国人の日本語スピーチ発表会」を行った。日本語能力検定試験と同日だったため、いつもより参加人数は少なかったが、7カ国12人の外国人が個性的なスピーチを発表した。人前で話すことは言語の勉強のいい経験となる。</p> <p>外国人もボランティアも楽しみにしている年末の「イヤーエンドパーティー」では今年は各クラスそれぞれ特徴のある出し物が行われ、多摩センタークラスの3カ国の「雪山賛歌」、「おおきなかぶ」を人形劇にして外国人がセリフを担当した永山クラス、オリンピック・パラリンピックのクイズに皆が挑戦した木曜夜クラス、フラダンスを披露の土曜クラス、阿波踊りを踊った木曜午前クラスには「たま阿波おどり振興協会」の方も参加し、最後にはみんなで踊りに加わった。外国人の方は家族連れでの参加者も多く、いつも和やかな雰囲気にも包まれる。</p> <p>多摩市に住む外国人が市民と一緒に充実した生活ができるよう、今後も努力していきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>多摩市国際交流センターには、多摩市の外国人支援において、大きな役割を担っていただいている。日本語教室は市内3ヶ所、5教室を開催しており、日本語指導だけでなく、日本文化や慣習等の紹介、体験も行っていただいている。また、日本語教室の中で生活相談や防災教育等も行っていただき、日本語指導に留まらない幅広い支援により、外国人の日本での生活を広く手助けしていただいている。さらに、日本語教室は外国人にとって日本人や外国人同士の交流の場ともなっていることから、日本での人間関係を築く場ともなっている。</p> <p>月刊生活情報紙「HAND in HAND in たま」は、外国人に知っていただきたい情報を掲載し、4ヶ国語(日本語・英語・中国語・ハングル)で発行している。市内の公共施設等に設置をしているが、11月には市内在住外国人に対し、多摩市国際交流センターのパンフレット等とともに郵送を行い、市内在住外国人への周知を図った。</p> <p>充実した支援体制を整えていくため、今後も多摩市国際交流センターと連携し、情報共有、課題解決、業務改善に努める。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

文化・市民協働課長

1 受託団体名	フレンドツリーサポーターズ	代表者名	小野 令
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	文化・市民協働課
3 事業名	梅林等市民団体管理業務委託		
4 事業概要	東永山複合施設の東側法面及び梅林の保全管理団体を平成10年、19年、22年度に広報等により公募し、審査会審査を経て決定した市民団体に委託。		
5 事業の目的	学校跡地施設内の樹木管理等について、自主的に組織された市民団体が自ら維持管理することを通して、行政と協働のまちづくりを進める。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	140 千円		
9 契約期間	平成 30 年 5 月 7 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>平成30年度の多摩市文化・市民協働課との東永山複合施設法面の管理保全業務委託を、計画通り実施しました。9日間の作業を計画し、実施しました。とくに、昨年度は天候に恵まれ作業を中止した日が無く、予定どおり実施しました。作業量は計63人日実施しました。</p> <p>下草刈りは春と秋の2回行い、また状況に応じ伸びた下草を刈払いしました。今年は特にクズの繁茂が酷く、作業量が増大しています。</p> <p>一方、クロマツ66本のみどり摘みと剪定を行い、ウメの木90本の剪定を実施しました。また、施肥を行っています。梅の木は、よく育っています。作業の安全と効率化のため、法面の階段を補修しました。</p> <p>永年の手入れの結果、ウメの木は花も結構咲くようになっています。昨年度実がなぜ生らないか再度検討した結果、新しく甲州小梅の幼木を植林して、数年後に異種混合での摘果を試みることにして11月に5本の植林を実施しました。</p> <p>ウメ、マツは、かなり老木状態となり、剪定作業時に、枝折れ等が発生し、危険度が毎年増加してきており、細心の注意を払って、作業を進める必要が益々高まっています。危機管理と、安全器具類の充実、救急薬品等の設備に注意すると同時に、安全管理担当者を設定し、安全管理に努めています。</p> <p>平成31年度(令和元年度)も、今年度と同様の管理作業を行っていくつもりであり、予定です。</p>					
<所管課自由記入欄>					
<p>平成30年度も引き続き、東永山複合施設の東側法面及び梅林の保全管理を市民団体に委託し、学校跡地内の樹木管理等について自主的に組織された市民団体が自ら維持管理することを通して、行政との協働のまちづくりを進めてきた。平成30年度は途中から文化・市民協働課の担当が変わったため、2団体の代表者に集まっていたが、顔合わせと合わせて東永山複合施設の今後の方向性について行政管理課資産活用担当課長から2団体へ説明をした。方向性としては、令和3年度にURと東永山複合施設との土地交換が行われると市の土地ではなくなってしまうが、令和元年度も引き続き管理をしていただきたい。</p>					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

文化・市民協働課長

1 受託団体名	永山梅の木会	代表者名	井上 洋治郎
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	文化・市民協働課
3 事業名	梅林等市民団体管理業務委託		
4 事業概要	東永山複合施設の東側法面及び梅林の保全管理団体を平成10年、19年、22年度に広報等により公募し、審査会審査を経て決定した市民団体に委託。		
5 事業の目的	学校跡地施設内の樹木管理等について、自主的に組織された市民団体が自ら維持管理することを通して、行政と協働のまちづくりを進める。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	70 千円		
9 契約期間	平成 30 年 5 月 7 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	<p>法面に植栽されている梅の木の管理を行っている。剪定や雑草の刈り取り、法面の保護・整備にも努め、会員相互の係わり、地域の情報の交換及び発信を行っている。剪定で発生した枝は正月まで保管し、運動場で行う「どんど焼き」での餅焼きの串として利用している。花の時期には地域の皆様に小枝の配布を行い、交流を深めている。定期的に見廻りを行い、地域の防犯活動の一部を担っている。</p>				
<所管課自由記入欄>					
4	<p>平成30年度も引き続き、東永山複合施設の東側法面及び梅林の保全管理を市民団体に委託し、学校跡地内の樹木管理等について自主的に組織された市民団体が自ら維持管理することを通して、行政との協働のまちづくりを進めてきた。平成30年度は途中から文化・市民協働課の担当が変わったため、2団体の代表者に集まっていただき、顔合わせと合わせて東永山複合施設の今後の方向性について行政管理課資産活用担当課長から2団体へ説明をした。方向性としては、令和3年度にURと東永山複合施設との土地交換が行われると市の土地ではなくなってしまうが、令和元年度も引き続き管理をしていただきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

文化・市民協働課長

1 受託団体名	多摩市文化団体連合	代表者名	青木 ひとみ
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	文化・市民協働課
3 事業名	多摩市民文化祭業務委託		
4 事業概要	多摩市民文化祭の実施		
5 事業の目的	市民の文化活動の発展向上を促進する		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	2,400 千円		
9 契約期間	平成 30 年 5 月 1 日 ～ 平成 31 年 1 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	<p>「未来につなごう多摩の文化」をテーマとして第41回目となる多摩市民文化祭を開催した。参加団体28、参加者1,653名、観客動員数11,907名と盛大に開催された。初参加の団体が2団体あったが、今後は更に参加団体・参加人数が増えるよう努力していきたい。</p> <p>～文化祭会場～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルテノン多摩(大ホール、小ホール、市民ギャラリー、特別展示室)</li> <li>・関戸公民館(ヴァイタホール、ギャラリー、第1～3学習室、市民ロビー)</li> <li>・永山公民館(バルブホール、ギャラリー)</li> </ul>				
<所管課自由記入欄>					
4	<p>多摩市文化団体連合は、市民文化祭の開催を通して、多摩市内諸文化団体の発展向上と相互の交流親睦を図り、広く市民文化に寄与している。30年度は、外国の文化の紹介や外国人も楽しめる視点を取り入れた発表・展示等が行われ、多摩の文化・芸術を世界へ向けて発信するとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、多摩市内の文化活動における気運の醸成も図られた。参加団体の高齢化が課題となる中、30年度は「未来につなごう多摩の文化」をテーマに、新規2団体の参加もあり、多摩の文化を未来へとつないでいく第1歩となった。今後も多摩市文化団体連合と所管課で、多摩市民文化祭についてのふりかえりを密に行うことで課題を共有し、次年度以降の市民文化祭の実施に活かしていきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

文化・市民協働課長

1 受託団体名	一般財団法人多摩市体育協会	代表者名	甲田 不二男
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	スポーツ振興課
3 事業名	市民体育大会等実施業務委託		
4 事業概要	多摩市民やそれらで構成する団体を主たる対象に、広く市民が参加できる市民体育大会等のスポーツ事業の実施に関する業務を委託する		
5 事業の目的	市民体育大会等を実施することで、市民の健康増進とスポーツの技術向上を図る		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input checked="" type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	6,607 千円		
9 契約期間	平成 30 年 6 月 13 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  広い年齢層の市民にスポーツ振興事業を行った。 その結果、スポーツの楽しさ・素晴らしさを体感してもらうことにより個人の健康維持や体力づくりに貢献できた。 また、参加することにより市民の技術向上等のスキルアップが図れた。 スポーツ振興課と連携を密接に取りながら業務を行ったので事業の内容が充実して終了でき、目的を達成することが出来た。				
4	<所管課自由記入欄>  市民体育大会やジュニアスポーツ推進事業を実施していただき、幅広い年代の市民がスポーツに親しみ、健康増進とスポーツの技術向上を図ることができた。今後も多摩市体育協会と情報共有を行い、市民のスポーツ振興に努めていきたい。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

スポーツ振興課長

1 受託団体名	一般財団法人多摩市体育協会	代表者名	甲田 不二男
2 委託部名	くらしと文化部	委託課名	スポーツ振興課
3 事業名	都民体育大会等選手派遣業務委託		
4 事業概要	都民体育大会などの上位大会へ多摩市民を代表する選手団を組織し派遣する業務を委託する		
5 事業の目的	都民体育大会などの上位大会へ参加することを目標に研鑽を積むことで、技術の向上のみならず、健康の保持・増進、体力の向上もあわせて図る		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	2,496 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 4 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  優勝2連覇、3連覇の競技や、3位以内の上位入賞する競技が増加・定着し、市民のスポーツ技術の急成長を感じた。 今後はコンスタントに良い成績が継続して残せるように、市民のスポーツ参加をますます活発に推進する活動を進めていきたい。 スポーツ振興課とも連絡を密にしながら業務を行ったので事業の目的を達成することが出来た。				
4	<所管課自由記入欄>  都民体育大会及び市町村総合体育大会への出場について、選手の参加申込みや開会式への出席をはじめとした連絡調整等に努めていただいた。各々の大会において上位入賞を果たすなど、選手の技術力向上が図られた。今後も関係団体との連絡調整に努めていただくとともに、市民の健康保持・増進、体力の向上のため、引き続きその役割を果たしていただきたい。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

スポーツ振興課長



1 受託団体名	NPO法人子育て応援団そらいろのたね	代表者名	山口 圭子
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て支援課
3 事業名	子ども・子育て会議に伴う保育業務委託		
4 事業概要	多摩市子ども・子育て会議中の出席委員のお子さんの保育		
5 事業の目的	会議中の保育実施により、子育て世代の積極的な会議への参加促進と、子育て世代の立場からの意見を市の子育て支援施策へ反映させることを目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 <input checked="" type="checkbox"/> その他
8 決算額	40 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 27日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  保育を通して子育て期の母親の社会参加を応援することは私たちの活動の目的でもあります。保育があることで、子育て世代の意見を政策に反映することに寄与できることは大変意義のあることと考えます。保育の実施に際しては専用の保育室ではないため、担当者に保育環境の整備にご協力いただき、利用者が安心して保育を利用できるよう、できるだけ同じ保育者が担当するようにしています。				
4	<所管課自由記入欄>  平成30年度について、子ども・子育て会議を4回開催し、本事業は全4回子育て中の委員に活用されました。そのため、子育て中の委員が会議に参加できる一助となり、子育て世代の方の意見を会議に反映させるという目的を達成することができました。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て・若者政策担当課長

1 受託団体名	NPO法人子育て応援団そらいろのたね	代表者名	理事長 山口 圭子
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て支援課
3 事業名	子ども家庭サポーター派遣事業業務委託		
4 事業概要	子育てに関する支援を必要とする家庭に対しサポーターを派遣し、家事や育児等の支援を行う。		
5 事業の目的	子育て家庭の福祉向上を図る。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ その他
8 決算額	456 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>個別のケースに関しても、事業全体に関しても、随時連絡を取り合い、相談しながら支援を行うことができた。定例の連絡会や月例報告などの機会に支援内容や利用者の状況等報告、相談しながら、関係機関とも連携して支援を進めている。これからも産前産後の家族のニーズに適切に対応できるよう務めていきたい。</p> <p>3 ここ数年、心身の不調などの困難を抱える母親が増えていること、発達に気がかりなところがあり対応に配慮が必要な子どもが増えていることから、健康センター、子育て総合センターとの連携が必要なケースが多くなっている。こうしたケースを含め、家庭に入って支援を行うことはスタッフにとってやりがいもあるが、誰でもができることではなく、スタッフは常に研鑽を積みお互いに活動について検証しながら利用者へ寄り添った支援を心がけている。昨年よりこの活動に参加するサポーターが少しずつ増えていて心強い。</p> <p>コーディネーターの人件費が出にくい委託費になっていること、スタッフの研修体制（利用者のニーズに適切に対応していくためのコミュニケーション技術の向上など）の充実など、検討していただけるとありがたいです。</p>					
<所管課自由記入欄>					
<p>4 事業の目的は、虐待予防のための産前産後支援であり、サービスの主な対象者が、出産直後で心身共に疲弊している母親と月齢が低い乳児である。また、家事援助や保育に携わった経験のある者や、資格保持者でないと従事が難しい事業である。こうした大変な活動に、子育て応援団そらいろのたねは15年近く携わっている。そらいろのたねは、子育て家庭への支援実績が確かなNPO法人であるため、育児援助や母への寄り添いが特に充実していた。子育て総合センターケースの困難を抱える家庭に対しても、手厚い援助計画を立て、母親の精神面や家庭の生活面を親身に支えていた。</p> <p>市は、円滑にコーディネートが進むように、依頼時に母子の状況やニーズを受託団体へ確実に伝えることに努めた。両者では、定期的な連絡会等で、利用者の状況の共有や事業の意義を確認し合い、連携を深められた。市の今後の課題は、近年の利用増に対応していくことである。30年度利用回数は308回で、29年度の2倍以上となった。サポーターに負荷が掛からないためにも、担える人材を増やし、事業体制を整えていきたい。</p>					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て総合センター長

1 受託団体名	NP0法人ACT多摩たすけあいワーカーズつむぎ	代表者名	理事長 近藤 邦子 (～4/24) 倉持 和子 (4/25～)
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て支援課
3 事業名	子ども家庭サポーター派遣事業業務委託		
4 事業概要	子育てに関する支援を必要とする家庭に対しサポーターを派遣し、家事や育児等の支援を行う。		
5 事業の目的	子育て家庭の福祉向上を図る。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契
8 決算額	409 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	はい	レ どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>子育て総合センターより依頼を受け、早めの対応と思い、依頼者の方にお電話をしても繋がらない事も多くコーディネートに至るまで時間がかかる事もあります。 お母様が体調を崩されたり、お子様が入院されたりとキャンセルの月が続き、計画通りに予定がスムーズに進みませんでした。 これからも、ケア者の手配や時間調整など大変な事もありますが、一人でも多くの方を支援できるように対応していきたいと思えます。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>事業の目的は、虐待予防のための産前産後支援であり、サービスの主な対象者が、出産直後で心身共に疲弊している母親と月齢が低い乳児である。また、家事援助や保育に携わった経験のある者や、資格保持者でないに従事が難しい事業である。こうした大変な活動に、つむぎは15年近く携わっている。つむぎは、団体の業務が多忙な中でも、日程や人員の調整を行い、本事業への派遣時間を確保していた。子育て支援だけでなく、障がい者支援や介護サービスの実績がある法人のため、スキル・経験が豊富なサポーターが多く、病気や障害等を抱える母親の支援にも慣れているようだった。 市は、円滑にコーディネートが進むように、依頼時に母子の状況やニーズを受託団体へ確実に伝えることに努めた。両者では、定期的な連絡会等で、利用者の状況の共有や事業の意義を確認し合い、連携を深められた。市の今後の課題は、近年の利用増に対応していくことである。30年度利用回数は308回で、29年度の2倍以上となった。サポーターに負荷が掛からないためにも、担える人材を増やし、事業体制を整えていきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て総合センター長

1 受託団体名	特定非営利活動法人たすけあいの会ぼれぼれ	代表者名	理事長 山田 緑
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て支援課
3 事業名	子ども家庭サポーター派遣事業業務委託		
4 事業概要	子育てに関する支援を必要とする家庭に対しサポーターを派遣し、家事や育児等の支援を行う。		
5 事業の目的	子育て家庭の福祉向上を図る。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契
8 決算額	150 千円		
9 契約期間	平成 30 年 10 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>今年度は、コーディネートに伺った方のほとんどがサポーター派遣を希望され、新生児のお世話や家事援助で産後間もないお母さんのお役に立てたと感じています。特に、赤ちゃんがいて外出がままならない時期の密室生活や、育児不安、社会から取り残されるような気分等、暗い表情のお母さん方がサポーターの訪問でおしゃべりをしたり、一緒に赤ちゃんのお世話をすることで明るくなっていく様子を拝見することができ、とても意義ある事業だと改めて認識しました。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>事業の目的は、虐待予防のための産前産後支援であり、サービスの主な対象者が、出産直後で心身共に疲弊している母親と月齢が低い乳児である。また、家事援助や保育に携わった経験のある者や、資格保持者でないに従事が難しい事業である。こうした大変な活動に、たすけあいの会ぼれぼれは15年近く携わっている。ぼれぼれは、子育て・孫育ての経験者が多いため、利用者の心の支え・相談相手となりながら、家事・育児スキルを活動の中で伝えていく様子が見えた。コーディネーターは、市と密に連絡をとり、支援計画や利用者の状況を共有しており、市にとっても心強い存在だった。</p> <p>市は、円滑にコーディネートが進むように、依頼時に母子の状況やニーズを受託団体へ確実に伝えることに努めた。両者では、定期的な連絡会等で、利用者の状況の共有や事業の意義を確認し合い、連携を深められた。市の今後の課題は、近年の利用増に対応していくことである。30年度利用回数は308回で、29年度の2倍以上となった。サポーターに負荷が掛からないためにも、担える人材を増やし、事業体制を整えていきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て総合センター長

1 受託団体名	NPO法人たすけあいの会ぼればれ	代表者名	山田 緑
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て総合センター
3 事業名	ファミリー・サポート・センター運営業務委託		
4 事業概要	子育ての援助をしてほしい人と援助をしたい人が会員になり、地域で支え合う子育て支援組織を作り、相互援助活動を推進する。		
5 事業の目的	子育て家庭の福祉の向上を図る。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	レ 企画提案	見積競争	特命随契
8 決算額	7,248 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 30年 9月 30日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>会員登録や依頼活動内容、件数等をファミサポ仕様のパソコン入力ソフトで管理していますが、OSのサポート期限が2020年1月となるため、(一社)女性労働協会のソフトに入れ替えました。過去のデータに関しては、今後は文書から引くこととなります。提供会員の増加が思うようにならず、地域によってはかなり広範囲からマッチングしています。それに加えて、ベテランの提供会員が高齢を理由に退会している状況があり、世代交代をいかに進めていくかが課題になっています。提供会員養成講習会の広報の仕方等に新しい方法を取り入れる工夫が必要と考えます。今年度は半年間の受託でしたので、事業運営に支障をきたさないことを第一に綿密な引き継ぎを行いました。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>増加する困難事例への対応など、市民の求めるサービスを提供会員に委ねる事業であるが、会員相互及び会員とファミリー・サポート・センター事務局との信頼関係を踏まえた事業実施ができたと考えられる。ファミリー・サポート・センター事業の当初から本団体に委託してきたが、30年度は前期の委託期間としたが、新規受託団体へのノウハウの継承など、良好に引き継がれたことも評価できる。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て総合センター長

1 受託団体名	特定非営利活動法人 多摩子ども劇場	代表者名	理事長 市川 ひとみ (～5/24) 春田 祐子 (5/25～)
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	子育て総合センター
3 事業名	子育てひろば事業等業務委託		
4 事業概要	子育て総合センターにて実施する「子育てひろば事業」「リフレッシュ時保育事業」「人材育成・研修・ネットワーク事業」「利用者支援事業」の委託		
5 事業の目的	市民の子育て・子育てを総合的に支援し、子どもを介した学びと交流を促進する。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	32,932 千円		
9 契約期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  これまでの活動を継承しつつ、さまざまな新しい取り組みにチャレンジした一年でした。 ひろば事業では、初めての館外活動「ブルーベリー狩り」や乳幼児向け弦楽四重奏コンサート、 人材育成・研修・ネットワーク事業では、「中学生と乳幼児親子のふれあい交流事業」、 また、利用者支援事業では、昨年初開催の「市内幼稚園合同説明会」に「市外幼稚園説明会」「プレ幼稚園説明会」 を加えるなど、団体の持つ地域連携の力を活かすことができました。 いずれも関係各所との調整にあたっては、市のご協力をいただくことも多々ありました。 毎月定例で実施する子育て総合センター三者会議も定着し、より連携が深まってきていると感じています。 施設内の故障や不具合についても、いつも迅速に対応いただき、感謝しています。				
4	<所管課自由記入欄>  平成26年度から平成28年度までの3年間、現行事業者に委託した結果、所期の目的であった地域のネットワークを生かした事業展開が行われたほか、各事業の利用者数を増加させるなどの成果を上げたため、平成29年度からも、特命により平成31年度までの3年の期間で契約し、委託している。 平成30年度も引き続き、子育て総合センター内の他事業や地域の関係機関と連携しながら事業を実施したほか、「多摩市内プレ幼稚園合同説明会」「多摩市外幼稚園合同説明会」「中学生と乳幼児親子のふれあい交流事業」の実施やOneday講座の拡張など、子育て親子のニーズを捉えた創意工夫により事業を展開した。 今後も、市民協働の特長を生かせる子育て総合センターの事業運営を推進していきたい。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

子育て総合センター長

1 受託団体名	特定非営利活動法人青少年自立援助センター	代表者名	工藤 定次
2 委託部名	子ども青少年部	委託課名	児童青少年課
3 事業名	子ども若者育成支援推進事業委託		
4 事業概要	ひきこもりに関する講演会・個別相談会		
5 事業の目的	①ひきこもり等で自立に悩みを抱える若者及びその家族等からの相談に応じ、必要な助言や情報提供、適切な支援機関の紹介等を行うことにより若者の自立及び社会参加の促進を図る。 ②ひきこもりの現状や自立までの実例等について講演会を開催することで、若者の自立支援に関する市民への周知とひきこもり支援に関するニーズの把握をする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	441 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  30年度の事業は、前年度の事業の反響を踏まえた形で、隔月の個別相談会の実施と事業周知も含めた講演会を2回実施した。個別相談会においては、毎回、相談内容の共有を委託課と行い、必要に応じて他部署への誘導等や連携をおこなった。 講演会の事業においても、事業周知と相談者の掘り起こしを課題として、委託課とも綿密に打ち合わせを行い実施した。 広報に関しても、市民に伝わりやすいキャッチフレーズを委託課と繰り返し協議し、チラシ等に反映させた。その結果、多くの集客に繋がり、個別相談会への誘導にも繋がった。				
4	<所管課自由記入欄>  子ども若者支援育成事業として年2回の講演会と今年度初めて隔月に1回個別相談会を実施した。受託団体の40年にもわたる支援経験に基づいた内容で、ひきこもりに対する理解を深め、早めの対応が必要である等の啓発ができた。さらに参加者の範囲ではあるがひきこもりに悩んでいる方のニーズ把握や当事者の概要をつかむことができた。 次年度は把握したニーズから、個別相談を定期的実施して継続的にひきこもり支援をしていけるよう検討し、さらなる事業の充実を目指していく。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

児童青少年課長

1 受託団体名	特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター	代表者名	理事長 杉本脩子
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	福祉総務課
3 事業名	自死遺族等支援事業実施業務委託		
4 事業概要	自死遺族の支援事業。日野市・多摩市との共催。		
5 事業の目的	本事業は、東京都地域自殺対策強化交付金を活用して実施するもので、自死（自殺）により家族や親族、友人等を亡くされた市民が「悲しみ」「つらさ」「苦しさ」を共有し、分かち合うことを目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	210 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>複数自治体の共催により、広報の範囲が広がり、次第に近隣地域にも知られるようになってきた。通常の生活では話にくい内面の葛藤を共有し合うことから、孤立感が薄れ、死別後の人生の再構築に役立つよう、継続していきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>2市で共催の事業である強みを生かして、2市の担当者と団体スタッフの間で情報共有を密に行い、広域的に支援を行うことができた。周辺市でも広く事業を実施している団体であり、委託団体を中心に広く情報共有を行い、引き続き他市と連携した実施や、事業の改善を行っていく。また、団体が実施している他の事業の周知を市が協力して行い、当事業を含む自殺対策事業の目的である「自殺死亡率の減少」を目指して、繋がりを強化していく。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

福祉総務課長



1 受託団体名	多摩市文化団体連合	代表者名	青木 ひとみ
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	高齢支援課
3 事業名	長寿を共に祝う会運営業務委託		
4 事業概要	高齢者を含む市民団体等が日頃の活動を披露し、共に長寿を祝いあう事業を実施する。		
5 事業の目的	高齢者の社会参加促進と地域の高齢者の支えあいを推進する。		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input checked="" type="checkbox"/> 限定公募※2	<input type="checkbox"/> 指名選定※3
7 選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input type="checkbox"/> 特命随契
8 決算額	2,220 千円		
9 契約期間	平成 30 年 5 月 31 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>平成30年度は、前年度に参加して頂いた団体に加えてマントリン、南京玉すだれなどの団体が増え、多様な催し物ができたと思います。</p> <p>パルテノン多摩の改修事業もあり、しばらくは長寿を共に祝う会の開催は無いようですが、再開の折にはまた改めて安全管理に努めて楽しい事業になるようにしたいと思います。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>平成30年度も仕様書に基づいた適切な事業が実施されました。</p> <p>本事業は、高齢者を対象とした催しであることから、安全面への配慮や、高齢者の趣向に合わせた演出がされており、参加者からも概ね好評でした。</p> <p>なお、令和元年度よりパルテノン多摩の改修が始まり、3年程度イベント型Aの開催が出来ない予定ですが、パルテノン多摩の改修後は、引き続き市民団体と協働し、より充実した「長寿を共に祝う会」を開催する予定です。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

高齢支援課長

1 受託団体名	多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会	代表者名	我孫子 雅行
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	高齢支援課
3 事業名	長寿を共に祝う会運営業務委託		
4 事業概要	高齢者を含む市民団体等が日頃の活動を披露し、共に長寿を祝う事業を実施する。		
5 事業の目的	高齢者の社会参加促進と地域の高齢者の支え合いを推進する。		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input checked="" type="checkbox"/> 限定公募※2	<input type="checkbox"/> 指名選定※3
7 選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input type="checkbox"/> 特命随契
8 決算額	1,651 千円		
9 契約期間	平成 30 年 5 月 31 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>イベント型Bでは、公民館を会場とすることで車イスを多く含む高齢者福祉施設（特養・認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、デイサービス）の参加を得ることができ、かつ公民館の協力もあり、安全に実施することができた。</p> <p>高齢者を含む出演団体にとっては、日頃の活動の披露や、一緒に歌い踊るなかで客席の様子や反応を間近に感じられる機会ともなり、満足感や達成感を十二分に感じることで共に楽しみ喜びあえる事業となっている。</p> <p>出張型事業では、自治会や老人クラブ、社会福祉協議会がすすめているサロン活動、高齢者福祉施設等から依頼を受け、敬老の催し、新年のイベント、その他の催しに向くことで高齢者を含む市民団体の活動の披露が大きい喜ばれていた。</p> <p>高齢者を中心に地域で人と人とのつながりやふれあい、居場所づくりを続けている団体も、定期的な活動の中では、より楽しんでもらえる企画を模索していることもあり、魅力ある活動を継続していく中では出張型事業が役立っていた。</p> <p>「長寿を共に祝い合う」事業は、高齢者が意欲的に取り組んでいる高齢者のための地域づくりにとって、大いに役立つものになっている。</p>					
<所管課自由記入欄>					
<p>平成30年度も仕様書に基づいた適切な事業が実施されました。</p> <p>本事業は、高齢者を対象とした催しであることから、安全面への配慮や、高齢者の趣向に合わせた演出がされており、参加者からも概ね好評でした。</p> <p>なお、パルテノン多摩の改修期間中は、イベント型Aを休会することを決定しており、代替案として出張型事業を充実して実施する予定です。ついては、地域や介護サービス事業者等への周知が重要であるため、市民団体と連携して、事業の魅力が伝わるPRに取り組んでいきます。</p>					

上記のとおり多摩市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

高齢支援課長

1 受託団体名	NPO法人ハンディキャブゆづり葉	代表者名	理事長 杉本 依子
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	障害福祉課
3 事業名	ハンディキャブ運行事業業務委託		
4 事業概要	ハンディキャブ運行事業		
5 事業の目的	日常生活において車いすを使用する重度の身体障がい者に対して、ハンディキャブによる移送サービスを提供することによる在宅障がい者の生活圏の拡大を図り、社会参加の促進を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	12,965 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	行政との協働により着実に多摩市の福祉交通の一翼を担うことができました。車いす利用の市民の社会生活の利便性と生活圏の拡大に努めました。本来の制度目的の社会活動や運動に利用促進されるよう、市民ニーズの把握や制度運用の検討が必要な時期に来ていると思います。				
<所管課自由記入欄>					
4	平成29年度決算審査施策評価において見直し等図るべきとされたため、現状のまま継続実施しながら、障害者総合支援法の障害福祉サービス、地域生活支援事業、介護保険法のサービスを視野に入れた上で、社会参加の促進や利用者のニーズに沿ったハンディキャブ運行事業が展開できるよう、受託者と意見交換をしながら事業の見直しについて検討を進める。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

障害福祉課長

1 受託団体名	NPO法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター	代表者名	安部 敏紀
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	障害福祉課
3 事業名	手話講習会実施事業業務委託		
4 事業概要	手話講習会（初級・中級・上級及び手話通訳者養成講座 応用・実践）の実施。		
5 事業の目的	手話通訳技術を広く市民に普及、聴覚障がい者や難聴者への理解促進、地域で活動する手話通訳者の養成を目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	5,542 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>市との協働事業としての歴史が長いので、お互いの役割分担が明確になっており、また、担当者とのコミュニケーションもスムーズにしていると思う。 登録手話通訳者のレベルを上げることを目指して、平成21年度から「手話通訳者全国統一試験」に参加し10年目になる。 「手話通訳者養成講座実践コースを修了した者11名が受験し、3名が合格した。 (合格率27.27%)。合格率の全国平均17.93%、東京都平均23.33%と比較すると高い合格率であった。 今後も、手話学習者数の拡大、手話通訳者の養成、統一試験の合格を目指し、聴覚障がい者に対する理解の促進を進めていきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>聴覚障がい者と手話通訳者で構成されたNPO団体に委託しているため、地域で活躍する手話通訳者の育成や手話技術の普及・啓発だけでなく、聴覚障がい者の歴史等についても学ぶことが可能となっている。 また、40年以上の実績から、手話の普及・啓発のみならず、多摩市登録手話通訳者の条件となっている「手話通訳者全国統一試験の合格」にかかるノウハウが蓄積されている団体でもある。平成30年度においては、団体からの要望を基に調整を行い、講習会の受講回数を増やしたことで、さらなる通訳者の拡充が行えるよう見直しを行った。(実践コース:従来の全18回から30回への増加) 今後も、登録手話通訳者の拡充の観点から、受託法人の協力を得ながら手話講習会のPRや聴覚障害全般についての理解促進にも力を入れていく。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

障害福祉課長

1 受託団体名	多摩市要約筆記サークル	代表者名	後藤 進
2 委託部名	健康福祉部	委託課名	障害福祉課
3 事業名	要約筆記講習会実施事業業務委託		
4 事業概要	要約筆記講習会（手書きコース・パソコンコース）		
5 事業の目的	要約筆記技術を広く市民に普及、聴覚障がい者や難聴者への理解促進、地域で活動する要約筆記者の養成を目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	574 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>事前の計画、準備から市と連携をとってできたと思う。 外部講師に依頼する目的など、講座の充実に関しては、市と目的を共有できた。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>受託団体は多摩市の中で、中途失聴者及び難聴者等への要約筆記支援を続けているサークルであり、聴覚障がい者や難聴者等の実態を理解していることが重要なことから、今後も当団体の協力が不可欠である。 平成29年度下半期から平成30年度上半期の1年間に亘って講習会を実施した結果、講習会修了者の3名が多摩市登録要約筆記者となった。 また、登録要約筆記者を増やすという課題解決のため、必然的に講習会受講者の拡大が必要であるが、本事業は2年に一度の募集であることから、今後も当法人の協力を得ながら、要約筆記の普及及び啓発、講習会募集の周知等に力を入れていく。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

障害福祉課長

1 受託団体名	公益社団法人 多摩市シルバー人材センター	代表者名	理事長 熊谷 義一
2 委託部名	都市整備部	委託課名	道路交通課(交通対策担当)
3 事業名	放置自転車等台数調査業務委託		
4 事業概要	市内4駅周辺の自転車等の乗り入れ状況を調査し、駐車台数・放置台数を把握する。		
5 事業の目的	指定箇所・時間等での放置台数、乗り入れ台数を漏れなく調査し、調査データとしてまとめたものを紙と電子データで仕上げる。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	808 千円		
9 契約期間	平成 30年 9月 28日 ~ 平成 30年 11月 26日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  シルバー人材センターの会員は多摩市民100%で、地域に密着した市民視点を踏まえた業務が可能です。会員は各種研修を受講し、リーダーを中心とした連絡調整・情報共有体制が構築されており、経験のあるメンバーを軸にチームで業務執行する組織力により、同時間帯に迅速に市内4駅周辺の調査にあたることができます。 また、調査結果をデータとして活用しやすい詳細な報告書に会員がまとめており、超高齢社会の中で、高齢市民の能力を生かし、多摩市行政にも寄与できる業務といえ、健幸まちづくりにつながる調査業務委託といえます。				
4	<所管課自由記入欄>  本調査のように短時間に広範囲なデータを収集する必要がある業務に対応可能な契約先であり、丁寧な資料作成にも信頼を寄せている。 データ作成の連続性・継続性を担保することからも、相互理解を深めながら業務遂行していただきたいと考えている。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

交通対策担当課長

1 受託団体名	多摩市民環境会議	代表者名	清水 武志朗
2 委託部名	環境部	委託課名	環境政策課
3 事業名	環境イベント等運営業務委託		
4 事業概要	①第22回多摩市身のまわりの環境地図作品展での作品展示・会場設営・当日の運営等業務 ②多摩エコ・フェスタ2019のチラシのデザイン・印刷業務		
5 事業の目的	①日常触れたり、感じたりしている身のまわりの生活環境を題材に取り上げ、自ら調査・研究し、地図として表現することにより、環境の捉え方を身を持って学び、環境に対する理解と認識を深めることを目的とする。 ②環境問題に少しでも興味のある方には新たに興味や関心を持ってもらい、他方で興味や関心がすでにある方には、環境問題を自身の問題として捉え、対策として何ができるかを考え行動し、更には環境保全活動に参加していただくことを目的とする。また、すでに環境保全活動に参加している方々には、相互に交流を持ってもらうことで、人脈を広げてもらい、活動を通じて培われた「知縁の輪」を次世代へつなげてもらうことも目的とする。		
6 募集方法	一般公募※1	レ 限定公募※2	指名選定※3 其他
7 選定方法	企画提案	レ 見積競争	特命随契 其他
8 決算額	624 千円		
9 契約期間	平成 30 年 10 月 1 日 ~ 平成 31 年 2 月 28 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
①第22回多摩市身のまわりの環境地図作品展での作品展示・会場設営・当日の運営等業務について 11月28日(水曜)から作品等の搬入を始め展示準備を行い、開催期間中は、作品展の運営業務を受託しました。12月2日(日曜)の表彰式は、例年と同様、展示会場と同じパルテノン多摩市民ギャラリーで行ったため、実際の作品の前で表彰でき、出展者をはじめ保護者、児童生徒、先生方の喜びも一層であったのではないのでしょうか。 また、平成30年度も昨年度と同様にローリングタワーを用いた高所作業が必要となりましたが、設計図に基づいた作品配置の糸引き等の作業手順・要領は熟知していたため、スムーズに作業を進めることができました。 昨年度と比較すると作品数及び作成者数は減少しましたが、児童・生徒達が身の回りの様々な事や物に興味を持ち、又、時間をかけて作品を制作をして頂き、私達、作品を掲示する側も大変喜ばしいことでした。					
②多摩エコ・フェスタ2019のチラシのデザイン・印刷業務について 平成27年度から「多摩エコ・フェスタ」の企画・運営を実行委員会形式で実施し、イベント告知用のチラシも昨年度に引き続き、A3サイズでフルカラー両面印刷二つ折り加工のものを作成しました。チラシのデザインや内容に関しては、実行委員会のコンセンサスをとるのに一部難航し、時間がかかったものの、最終的には老若男女を問わず親しみやすい印象を抱くようなチラシに仕上げることができました。 平成30年度は、新規に2企業(小田急電鉄株式会社・株式会社長谷工コーポレーション)のご参加頂き、新たな協働の取り組みを実施することが出来ました。会場内にも航空地図や植栽を設置するなど例年から変化を加えたことで来場促進に繋がり、今後も企業等の誘致など来場者が楽しめる方法を検討し、より盛況となる実施形態にできると良いのではないかと。					
<所管課自由記入欄>					
①第22回多摩市身のまわりの環境地図作品展での作品展示・会場設営・当日の運営等業務について 本事業に対する相互理解を深めるとともに、児童生徒の作品を通じ環境に対する会員の方々の関心を深める事が出来たのではないかと考える。また、平成30年度も作業期間を十分確保することができたため、市民団体もスムーズに作業を行うことができた。今後も本事業がスムーズに実施できるように、受託団体の十分な作業期間を確保した事業計画としたい。					
②多摩エコ・フェスタ2019のチラシのデザイン・印刷業務について 平成28年度から従来の多摩市身のまわりの環境地図作品展の展示・運営業務に加え、別事業である「多摩エコ・フェスタ」のチラシの作成も含むこととなった。当初はデザインの決定までに調整等で時間を要したものの、最終的には親しみを持ってチラシを完成して頂いた。					

上記のとおり多摩市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

環境政策課長

1 受託団体名	集合住宅環境配慮型リノベーション検討協議会	代表者名	加藤 輝雄
2 委託部名	環境部	委託課名	環境政策課
3 事業名	集合住宅環境配慮型リノベーションモデル事業業務委託		
4 事業概要	モデル集合住宅に対する「環境配慮型リノベーションメニュー」の作成から提案・説明並びに事業の普及啓発冊子の作成		
5 事業の目的	市内住宅のうち7割強を共同住宅が占めるという本市の特性を踏まえ、集合住宅管理組合（モデル集合住宅）に対して、個々の住居の特性にあった、創エネルギー・省エネルギー化等の環境対策面等の向上に利する提案を行い、集合住宅の環境対策の推進に必要な区分所有者間の合意形成をより促進するための意識の醸成を支援することを目的に実施する。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	レ 企画提案	見積競争	特命随契
8 決算額	2,709 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 29 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>モデル事業としての3か年目であり、3年間を通したまとめということもあり、一つの成果を求められる年度でもあった。業務自体は通例の基準に沿って行っただが、本年度は3つのモデル管理組合が極めて特徴的で、その具体的な提案も多様化した。以下にモデルとなった管理組合の特徴を示す。</p> <p>① 多摩ニュータウン開発初期の入居の400戸あまりの公的分譲の団地で、市内の団地では建替になった諏訪2丁目住宅に続いて建替などの再生課題が潜在する団地である。住戸面積は52㎡と62㎡という比較的狭い住戸であり、断熱材も施されていないという現状の中で、サッシだけが交換されて結露が壁に集中するようになってしまったという経過があり、環境配慮型の提案としては結露対策が重要である。その団地に対して環境配慮型のリノベーション提案という切り口で提案した主なもの「LED化」と「外断熱化」である。この事業化は具体的に次年度に引き続いて実施する予定で動いていて、団地管理組合との継続事業として今年度予算化がなったことの結果は大きい。</p> <p>② 1983年に入居した約300戸の団地で、建物は傾斜屋根とフラット屋根の混在する多様性を取り入れた公団分譲団地である。内断熱の標準的な仕様で建設されており、多少の結露は発生するものの極端な環境負荷のない建物群である。住戸面積も74～100㎡と多様であり、エレベーターは無いものの3階建てと5階建ての建物は今後も長期に渡って利用できるものである。環境配慮型の提案としては、外断熱化を推奨したが現実的には費用性などの問題で採択されない状況である。</p> <p>③ 多摩市ではじめてのコーポラティブ住宅であり、2009年NPOが企画して公社を介在して23世帯のコミュニティを形成している。6階建てエレベーター付きであることからバリアフリーは確保されているし、住戸面積も42～105㎡と多様で子育て世帯から高齢者単身まで多様な世帯が共生している。建物は外断熱で建設され設備もスケルトン・インフィルが採用されているなど長寿命化と環境に配慮した集合住宅として優良な建築でもある。この建物に対して環境配慮型の提案は西日対策と屋上階の遮熱である。敷地の向きが南北に長いことから住戸の開口部の多くが西向きである。これにより西日のコントロールが困難になっていた。また、建物全体に開口部が多いことから住戸内の熱コントロールが難しくなっていた住戸について、遮熱のコントロール提案を行った。</p> <p>以上の3管理組合の環境配慮型の提案のほか、前年度までの6管理組合を加えて総合的な資料を作成した。基本は「省エネ」「創エネ」「節エネ」という整理に従い、改善方法のアラカトを交えて広報啓発用の冊子を作成した。今後、この冊子を活用して各管理組合の環境改善に寄与できるよう適宜配信していくことが肝要である。</p>					
<所管課自由記入欄>					
4	<p>集合住宅で環境対策を実施するには、多様な価値観を持つ区分所有者との調整、費用負担の問題の解決など、合意形成の難しさが課題となる場合が多いことから、まずは合意形成に至る意識の醸成を目的として本事業を開始した。</p> <p>事業の最終年度となる本年度は、引き続きモデル集合住宅となっていた集合住宅管理組合への環境配慮型リノベーションメニューの提案を行ったほか、3年間の事業で行ったメニュー提案等をまとめた冊子を作成して市内の集合住宅管理組合に配布し、集合住宅の環境配慮型リノベーションの合意形成に向けた啓発を進めた。</p> <p>本事業は今年度で終了となるが、本市では住宅の7割強を集合住宅が占めていることから、今後も環境配慮型の集合住宅推進に向けた取り組みを検討したい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

資源循環推進担当課長



1 受託団体名	エコ・フレンドリー	代表者名	平野紀美子
2 委託部名	環境部	委託課名	環境政策課
3 事業名	食品スクリーニング検査業務委託		
4 事業概要	市民からの依頼による食品の放射性物質検査		
5 事業の目的	福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響について、特に生活に密接な食品を検査し、市民へ安心・安全を提供する。また、市民団体への委託は、市民団体個々の専門性、柔軟性、機敏性などの特性が発揮されることで、より利用者のニーズに沿ったきめの細かいサービスを可能とする。		
6 募集方法	一般公募※1	レ 限定公募※2	指名選定※3 其他
7 選定方法	企画提案	レ 見積競争	特命随契 其他
8 決算額	191 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 2 日 ~ 平成 31 年 3 月 29 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>2011年3月の福島第一原子力発電所の事故から8年が過ぎました。エコ・フレンドリーが、市民からの依頼による食品の放射性物質検査を始めて、国の基準値を上回る結果が出たことはありませんが、いまだに玄米やタケノコ、キノコ類、レンコンなどからはセシウム137が検出されています。私たちの身近な食品の検査をすることは、情報の確保と安心への判断材料のきっかけとして、大変意義のあることだと考えています。</p> <p>チェルノブイリで子供の甲状腺がんが増え始めたのは原発事故の5年後、慢性的に病気の子供の数が増えたのは事故の7年後のことです。</p> <p>これからも、行政と協力しながら継続した活動ができるように努力したいと思っています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>環境問題の中でも身近な生活に深く関わる放射性物質の問題について、市と市民が直接向き合う機会を設けることができた。</p> <p>市民の不安に感じていることや放射線対策に関して、これからの行政に期待することを実際の声として聞くことができた。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

環境政策課長

1 受託団体名	鶴牧西公園果樹の谷運営協議会	代表者名	塩生 よし子
2 委託部名	環境部	委託課名	公園緑地課
3 事業名	公園管理業務委託		
4 事業概要	鶴牧西公園北側斜面地にある果樹の谷の維持管理業務の委託		
5 事業の目的	市民の手による果樹園の維持管理と自然を理解し親しむための活動。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	レ 指名選定※3 その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ 特命随契 その他
8 決算額	500 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>鶴牧西公園果樹の谷運営協議会は3年目を迎えました。30年度の運営協議会の定例会議は多摩市、4団体の協議会委員のほか参加希望者を含め年6回行った。</p> <p>議題</p> <p>1、鶴牧西公園果樹の谷運営協議会会則について 2、果樹の谷の果実の即売会について 3、恵泉女子学園大学小林教授の講習会について 4、各団体より多摩市への要望案件について 5、安全対策について 6、恵泉女子大学学生のアンケート調査協力について</p> <p>上記の案件について協議した。</p> <p>1、会則については毎年見直し検討修正を行っていく。 2、果樹即売会は果樹にとって好天候に恵まれ4団体とも、即売会を開催することができた。「ブルーベリー 柿 ナツメ 柑橘系 ミカン 柚子 レモン キウイ等」 3、小林教授の講習会内容は、四季を通しての果樹の剪定 土壌や肥料について学習と実技を学びました。講習会を受けることで、剪定時期、種類により肥料の内容や量また施す時期 土壌作り 害虫対策について等等とも各団体の活動向上に役立ており次年度の開催予定が待ち遠しいと会員の声が聞かれている。 4、多摩市よりヤングリープスとライトグリーン用の 倉庫の設置 ライトグリーンの下段にネット柵と崩落部分の補修工事が行われた。 5、鶴牧西公園果樹の谷の活動会員は高齢化しており、活動場所も傾斜である。除草作業に使う刈り払機の正しい使用方法 手入れ 修理等講習会が必要と思われるので開催実現に向けて次年度に申し送り案件とする。</p> <p>長い間各団体は団体特有のルールや考えがあり、共有するには時間がかかると思われていたが、年々共有できる事項も多くなつてきている。 今一番困ってる事は活動会員不足である。各団体とも70歳代が多く60歳代は数人である。 明るく元気な活動会員大募集中</p>				
	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>鶴牧西公園果樹の谷運営協議会は、鶴牧西公園内の果樹の谷にて栽培している果樹を維持管理し、収穫物を用いて開催する即売会を通し、地域の活性化に貢献した。今後もこの特色ある公園の適正な維持管理に寄与していただきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

公園緑地課長

1 受託団体名	恵泉女学園大学	代表者名	理事長 宗雪 雅幸
2 委託部名	環境部	委託課名	公園緑地課
3 事業名	コミュニティ花壇育苗管理業務委託		
4 事業概要	ボランティア団体への育苗講座、公園用地の花壇に植え付けする花苗の育苗管理		
5 事業の目的	公園内で花壇活動をしているボランティア団体の方々に対し、専門的な知識を持つ講師による講習を実施することで、より高い知識・技術を持つ人材の育成を行う。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	1,972 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>27団体(アダプト17, 公園愛護会10)に対しての事業のため、各団体によって様々な問題がありますが、多摩市の担当の方々とは率直に意見交換しながら事業を進めることが出来ています。 各団体の活動場所に伺う(フォローアップ活動)ことで新たな問題も次々出てきますが、その都度臨機応変に対応しながら活動するようにしています。 年に数回、時間をとって市の担当の方々とは打ち合わせの機会を設けることで現状での問題点と、それに対する解決の方策を共に考え、協力しながらすぐに次の活動に活かすことが出来るので、成果も出やすくなっていると感じています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>ボランティアの方々とコミュニケーションをとりながら事業をすすめており、平成30年度末のアンケートでは、以前よりも花壇活動が楽しくなった、自分たちの花壇に愛着が増した、という声が増えられた。 高齢化や花壇活動参加者の減少等、各団体の抱えている様々な問題について、今後も大学と連携し対応を検討・実施していきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

公園緑地課長

1 受託団体名	恵泉女学園大学	代表者名	理事長 宗雪 雅幸
2 委託部名	環境部	委託課名	公園緑地課
3 事業名	グリーンライブセンター運営業務委託		
4 事業概要	グリーンライブセンターの管理及び運営		
5 事業の目的	みどりのパートナーシップの更なる推進		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	9,575 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
<p>多摩市、多摩市グリーンボランティア連絡会と恵泉女学園大学の三者で協働事業を行う中で当大学は、植物に関する講座や相談、各種イベントなどの中心的な活動と、ライブガーデン等の当施設の重要なエリアの管理運営を受け持っている。</p> <p>その中で、平成30年度は、近々に多摩市が予定しているグリーンライブセンターの大規模改修にむけて、当大学が受け持つエリアを中心に将来の活動を想定しながら、改修工事の仮事務所や植物の移植地あるいは、現在活動中のボランティアが継続的に動ける環境づくりを提案した。またライブガーデンでは、春夏秋冬に美しく咲く花々を市民の皆様を紹介するため、昨年に引き続き多摩センター周辺に配布されるミニコミ誌に、当施設で開花する「花」のエッセイを掲載しました。その中では特にバラの時期には、バラの名前の由来や五感で楽しむイベントの紹介など、既存の草花と合わせて、ガーデンの華やかさと品格を周知し来館者に好評を得ている。さらに、園芸の日常的な課題の解決を図るだけでなく専門的な分野にも触れる公開講座では、引き続き地域の子供たちに、「農」を体験していただく「ファーマー体験」講座を当施設の圃場でおこない、農作物を育て収穫することで自然と向き合い「いのち」あるものとの共生を実感していただいた。</p> <p>また本件の協働事業の中で当大学ならではの活動として、多摩センター駅周辺で行われる地域イベント(こどもまつり、ハロウィン、スプリングフェスタ)に積極的に参画し、多数の学生や市民ボランティアとともに植物に興味をもてる催事を展開した。また12月のクリスマスには、恒例のハンドベルコンサートを実施し、夕暮れのライブホールに美しいベルの音が響き、みどりに関心の薄い方でも当館を訪れる「きっかけ」づくりをおこなった。</p> <p>今後とも、グリーンライブセンターが多摩市のみどりの拠点として発展できるよう、他の協働事業者とともに努力してまいります。</p>					
<所管課自由記入欄>					
4	<p>恵泉女学園大学は、平成30年度もライブガーデンの管理をはじめ、各種講座イベントさらにはバックヤードの整備などに積極的に取り組み、グリーンライブセンターのイメージの向上と来館者の一層の増加につながった。また、予定されているグリーンライブセンターの大規模改修に関する様々な課題等についても多摩市グリーンボランティア連絡会、当市と継続的な協議が継続中である。今後においても、多摩市グリーンボランティア連絡会、当市との連携を深め、グリーンライブセンターの持続的発展と園芸を通じた社会貢献に寄与していただきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

公園緑地課長

1 受託団体名	多摩市グリーンボランティア連絡会	代表者名	代表 川添 修
2 委託部名	環境部	委託課名	公園緑地課
3 事業名	グリーンライブセンター運営業務委託		
4 事業概要	グリーンボランティア講座企画運営、市民活動普及・啓発並びに活動支援		
5 事業の目的	みどりのパートナーシップの更なる推進		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	特命随契 レ その他
8 決算額	4,241 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>平成23年の協働事業開始から8年目となった平成30年度は例年通り第17期と第18期のグリーンボランティア講座初級と第14期中級の多摩市との協働事業として実施し、グリーンボランティア活動を行う多摩市のみどりの仲間づくりを継続して行った。</p> <p>市民企画の連絡会主催の講座イベントも恒例となった「タケノコと遊ぼう」「竹細工」「クリスマスリース作り」「緑の探検隊」「ドングリ工作」「多摩のめかい作り」「野鳥絵教室」「朴葉寿司作り」「ロケットストーブ講座」を継続して行った。グリーンライブセンターのイベントとして、春のこどもまつり、秋のハロウィンイベント、クリスマスナイト、スプリングフェスタなどを多摩市・恵泉女学園大学とつしよにグリーンボランティアの活動メンバーの協力を得て実施した。特に、今年度から多摩グリーンボランティア森木会クラブプロジェクトの協力も得て、「こどもまつり竹細工」「キャンドルナイト竹灯籠」等を実施した。豊ヶ丘小学校での学校林の活動や南鶴牧小学校での藍染め活動、大松台小学校のカブトムシ授業サポートも継続して行い、多摩市のESDでの活動も定着している。</p> <p>さらに、グリーンボランティア活動を安全に行うため、森木会の安全管理担当者会議や安全講習会を開催するとともに、ヒヤリハット情報の共有を図り、安全に対する意識を高めている。</p> <p>平成26年から開始した林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業も5年目となり、多摩市グリーンボランティア雑木林保全の会を中心に多摩市の協力を得て、グリーンボランティア森木会を活動主体に、グリーンボランティア連絡会が事務局を担当して、里山林保全活動と教育研修タイプの講座を行った。講座としては「多摩の竹で大人のクラブ」「夜の雑木林観察」「多摩の雑木林を歩く 秋・晩秋編」「お正月飾り作り」を行った。</p> <p>グリーンライブセンターという場でグリーンボランティア活動を行っている人々だけでなく、いろいろな団体や人との繋がりが広がるように、今後より一層、市および恵泉女学園大学と連携しながら、グリーンライブセンターでの活動が持続的・発展的なものとなるように事業を進めていきたい。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>多摩市グリーンボランティア連絡会は、平成30年もグリーンボランティア講座(初級・中級)をはじめ、連絡会主催の各種講座を積極的に展開された。また、林野庁の交付金事業の対応など、グリーンライブセンターの来館者の一層の増加と人と人の繋がりが促進された。また、予定されているグリーンライブセンターの大規模改修に関する様々な課題等についても、恵泉女学園大学、当市と継続的な協議が行われた。今後においても、恵泉女学園大学、当市との連携を深め市民ニーズに即した事業の展開を行い、グリーンライブセンターの持続的発展と活動を通じて地域環境の保全に寄与していただきたい。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

公園緑地課長

1 受託団体名	エコ・フレンドリー	代表者名	平野 紀美子
2 委託部名	環境部	委託課名	ごみ対策課
3 事業名	リユース食器貸出管理業務委託		
4 事業概要	イベント等で繰り返し使用できるリユース食器無料貸出制度における、洗浄・殺菌・貸出準備業務、また、食器の在庫管理を行う。		
5 事業の目的	貸出準備、洗浄・殺菌、在庫管理業務委託にとどまらず、リユース食器の普及啓発等、市と協働し進めていく。		
6 募集方法	レ 一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	レ 企画提案	見積競争	特命随契
8 決算額	560 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  エコ・フレンドリーが、多摩市のリユース食器貸出事業を受託して10年が過ぎました。イベントでのごみ減量を目的に市の行事などで積極的にリユース食器を利用するようになりました。エコ・フレンドリーとしては、永山フェスティバルに参加し、祭りごみの減量と多摩市のリユース食器のPRをしています。貸出に関しては、利用団体の希望に合わせて柔軟に対応し、利用しやすいように工夫してきました。今後も、利用団体の新規拡大など、さらなる利用拡大に向けてPR活動の充実を図りたいと考えます。				
4	<所管課自由記入欄>  当該事業を継続的に実施していくことで、市民のごみ減量意識の向上に繋がってきている。このため、引き続き団体と情報交換を図りながら、PRの強化と合わせ、新規利用者及びリピーターの確保、拡大に取り組んでいくと考えている。				

上記のとおり多摩市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

資源循環推進担当課長

1 受託団体名	エコ・フレンドリー	代表者名	平野 紀美子
2 委託部名	環境部	委託課名	ごみ対策課
3 事業名	転入者ごみ分別説明業務委託		
4 事業概要	多摩市に転入された方や市役所へ来庁された方に、ごみや資源の分別・排出方法などの説明を行うための窓口を市役所1階ロビーに設置する。		
5 事業の目的	多摩市のごみ・資源の分別や排出方法等とごみ減量とリサイクル等の必要性を分かりやすく説明して、ごみの少ないまちとなるように、市民のごみ減量等に対する意識が高まるように啓発を行う。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	2,669 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>市役所ロビーでの転入者ごみ分別説明窓口も、転入者の方はもちろんのこと市民の方もごみの分別の仕方や資源の出し方など様々な相談に立ち寄られるようになり、すっかり定着してきました。特に最近は断捨離や家の片づけなどで自分では処分できないものなどの相談が増えているように思われます。 これからも、転入者はもちろんのことエコプラザ多摩にはなかなか足を運べない市民の皆様が気軽に立ち寄っていただけるように笑顔で親切をモットーにわかりやすく丁寧な説明を心掛けたいと思います。さらに、展示の工夫やスキルのアップ、市との情報の共有化などを深めながら、市民のごみ減量等に対する意識の向上に貢献したいと考えています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>平成20年度の家系系ごみ収集有料化の開始時から、ごみ・資源の排出や分別方法、ごみ減量の必要性等を転入者(市民等)に説明し、その他ごみ行政に係る質問等も答えるなど、ごみ対策課と連携し、長い間、市民とエコプラザ多摩とのパイプ役となっていていただいています。その他、ごみ清掃のボランティアやごみの新規収集依頼の登録の窓口にもなっています。これまでに積み重ねた実績や経験と研修会等で得た情報をこれからの説明業務に活かして、引き続き協働して多摩市のごみ減量を図っていきたいと考えています。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

資源循環推進担当課長

1 受託団体名	多摩市障害福祉ネットワークたまげんき	代表者名	平松 光次
2 委託部名	環境部	委託課名	ごみ対策課
3 事業名	「ACTA／ごみ・資源収集カレンダー」配布業務委託		
4 事業概要	平成31年度版ごみ・資源収集カレンダーを市内全世帯及び市指定事業所に配布する。		
5 事業の目的	市内全世帯に配布し、ごみ・資源の排出方法や、収集業者による回収方法等を周知し、円滑な清掃行政を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	1,542 千円		
9 契約期間	平成 31 年 2 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  多摩市内の障害者福祉施設(たまげんき)が連携したネットワーク組織の強みを活かし、効率的に配布業務を行いました。 今年度の受託団体は12事業所で、事務局を中心に連携を取りました。 受託団体からは進捗状況を密に行い、委託課からは適宜情報提供をいただきながら、市内全世帯に配布しました。				
4	<所管課自由記入欄>  受託団体からは細かな進捗状況報告をいただいています。市内全世帯に確実に効率よく配布できるよう更なる連携強化を図りたい。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

資源循環推進担当課長



1 受託団体名	多摩市音訳グループ 繭	代表者名	銭廣 芳子
2 委託部名	環境部	委託課名	ごみ対策課
3 事業名	「ACTA/ごみ・資源収集カレンダー」音訳化業務委託		
4 事業概要	平成31年度版ごみ資源収集カレンダー音訳化業務委託		
5 事業の目的	ごみ・資源の排出方法、収集業者による回収方法等を周知し、円滑な清掃行政を図る為、「ごみ資源収集カレンダー」の音訳CDを作成する。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	35 千円		
9 契約期間	平成 31年 2月 26日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
	<受託団体自由記入欄>				
3	「ごみ・資源収集カレンダー」は、私たちの日常生活に必要な情報です。視覚障がい者の方たちにとっても大事な情報なので1年間便利に使っていただけるように、これからもわかりやすい録音図書作製を心がけていきたいと思えます。				
	<所管課自由記入欄>				
4	「平成31年度版ごみ・資源収集カレンダー」の音訳作成を依頼した。 短期間の作成にも関わらず、年度当初に市民の方の手元にあるように作成協力をしていただいた。 今後も事前に十分な情報の提供、共有を図りながら、視覚障がい者に対してわかりやすい情報を提供していきたい。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

資源循環推進担当課長

1 受託団体名	NPO法人子育て応援団そらいろのたね	代表者名	理事長 山口 圭子
2 委託部名	教育部	委託課名	教育振興課
3 事業名	保育実務委託		
4 事業概要	家庭教育支援事業実施の際の保育		
5 事業の目的	子育て中の保護者の方々が、家庭教育学級学習会等へ安心して子どもを預けて参加できるよう保育を行う。		
6 募集方法	一般公募※1	レ 限定公募※2	指名選定※3
7 選定方法	企画提案	レ 見積競争	特命随契
8 決算額	253 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 18日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
3	<p>保育時間中、子どもたちが安全に楽しく過ごせるようにと考えて保育を担っています。 家庭教育学級の実施計画(保育が必要なもの)について、早めの担当者からの連絡や、当日の保育環境に関する配慮等、ご対応いただいております、よい連携ができています。 この1年間も、企画持ち込みによる保育付き家庭教育講座をいくつか実施することができ、保育だけでない協働ができてよかった。地域の子育てがより豊かに、お母さんたちが子育てをもっと楽しめるようになることに貢献できたと感じている。 家庭教育学級の学習会については次年度より担当部署が変わることになったが、参加する保護者が安心して保育を利用できるよう、今後も連携して協働を進めていきたいと考えております。</p>				
<所管課自由記入欄>					
4	<p>子育て中の保護者が子どもを預けて安心して学習会に参加できるよう、役割分担と連携により取り組んだ。平成30年度は、家庭教育事業における計画の立案、実施において協働して取り組み、4つの事業を展開した。今後は公民館に事業を移管するが、引き続き乳幼児の保護者等を対象とした事業内容において協働を進めていきたいと考える。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

教育企画担当課長

1 受託団体名	多摩市身体障害者福祉協会	代表者名	理事長 勝手 春幸
2 委託部名	教育部	委託課名	教育振興課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託(文化財保護事業)		
4 事業概要	印刷物有償頒布事務業務委託(市役所)		
5 事業の目的	文化財書籍等の販売業務委託		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input checked="" type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	0 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課(所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市と事業所との連携により適正迅速に実施できた。				
4	<所管課自由記入欄>  受託事業者が適正な販売・事務処理等対応ができるよう、連携を取りながら今後も効果的な協働を進めていきます。市民を対象とした事業内容において市民協働による事業の充実を目指すことで、よりよい事業展開を図っていきたいと考えています。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

文化財担当課長

1 受託団体名	学校法人 国士館	代表者名	理事長 大澤英雄
2 委託部名	教育部	委託課名	教育振興課
3 事業名	子ども体験事業業務委託		
4 事業概要	大谷戸プレーパークの運営（自然体験活動の提供、自然体験活動指導者養成）		
5 事業の目的	次世代の子ども達の育成を具体化するための事業として、豊かな自然や様々な人と触れ合える自然体験や交流体験などの活動の場の提供を行う。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	807 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿掲載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>計画予定日数24日のうち、7月28日、10月27日、2月9日の3日は天候不良により終日中止となったため、実施日数は21日である。また、天候が悪い中での実施が6月23日、8月11日、12月22日、1月12日、3月23日の5日あった。</p> <p>開催に関しては、朝7時の天候と公園の地面の状況などから判断し、中止の場合は国士館大学ウェルネス・リサーチセンターのプレーパークホームページへの掲示、開催場所でのスタッフによるアナウンス、キャンプ練習場の管理人に連絡し、中止であることを周知した。開催時は、大谷戸公園に足を運んでくる人が目にしやすいように大きな木の板に開催を知らせるチラシ等を掲示するとともに、公園のいたるところにチラシを貼ってプレーパークの開催を知らせた。今年度から事業周知のため、児童館のお便りにプレーパークの案内の掲示を開始したことにより、家族での参加が目立つようになった。大人の参加者が増え、家族で公園を訪れる人や地域の方がチラシを見てプレーパークに参加し、火おこしを子どもたちと行ったりする様子が見受けられた。今後、使える媒体やチラシの見やすさなど改良し、多くの方にプレーパークを周知していきたい。</p> <p>今年度も20回という回数を超えて運営することができたが、天候に左右されるため良い気候や天候での実施は半分以下であった。昨年度と比較して、総数は19名少なく、子どもの参加が204人減少した。1日ごとの平均人数では113人（昨年度104人）と10名程度増加した。子どもの遊びが変容する中で、近隣の小学校の子ども参加が減少し、市内から車やバスを利用し家族での利用が増加したことが考えられる。</p> <p>今年度より始めた自然体験活動指導者養成講座は、ターゲットとした若い世代の子連れの方が参加するなど意義のある講習となった。しかしながら、3月に開催したため少し肌寒い時期であったこと、また、平日開催にしたことから、参加者が少なかった（5人）。今後は課題を整理しながら継続して実施していきたい。</p> <p>課題として、プレーパークが自己責任で活動する現状であることについて、もう少しわかりやすくかつ目につくように周知をして活動に参加してもらえるようにしたい。また、安全管理の問題からスタッフが散って近くにいないことにより生じる参加しづらい空間や他の公園利用者と一緒にスペースを使用しているため、遊ぶスペースがないなどの課題が新しく出てきたと考えられる。特に家族で参加する場合、参加申し込みの必要の有無や何をして遊んでよいのかなどを含め、プレーパークの決まりなどを明確に表記する必要があると感じた。掲示物の見やすさやプレーパークで設置している遊具、貸し出しをしている道具などが見てわかるような表記を来年度作成したい。</p>					
<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>本市の教育目標である子どもの豊かな心を育成するには、自然のなかでの活動を体験できる機会を増やす必要がある。自分の体を使って自然の中で遊ぶ、他人と直接触れ合う、といった体験ができる場が少なくなっている中、本事業は子どもたちが自主的、自発的に遊ぶことができる場として機能している。</p> <p>子どもたちが安全に活動できるように適切なアドバイスができる体験学習指導者のいる国士館大学と協働で事業を実施し、平成30年度は、野外教育・体験活動の必要性や効果について考え、技術を学び、キャンプインストラクターの資格を取得することができる自然体験活動指導者養成講座を開催した。市民の方が自然体験活動を子どもたちに教えるために必要なことを学ぶ機会を設けることで、自然体験が広がっていくことにつながればと考えている。</p> <p>今後もさらなる充実に向けて協働指定委託事業により、大谷戸プレーパークTAMAの運営を実施していきたい。</p>					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

教育企画担当課長

1 受託団体名	障害者自立支援センター多摩 ワークス多摩れすと	代表者名	総括所長 北山 文子
2 委託部名	教育部	委託課名	教育振興課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託（学校開放）		
4 事業概要	印刷物有償頒布事務業務委託（ベルブ永山）		
5 事業の目的	学校開放施設使用券の販売業務委託		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input checked="" type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	358 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば いいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市と事業所との連携により適正迅速に実施できた。				
4	<所管課自由記入欄>  受託事業者が適正な販売・事務処理等対応ができるよう、連携を取りながら今後も効果的な協働を進めていきます。学校開放団体を対象とした事業内容において市民協働による事業の充実を目指すことで、よりよい事業展開を図っていきたいと考えています。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

教育振興課長

1 受託団体名	多摩市身体障害者福祉協会	代表者名	理事長 勝手 春幸
2 委託部名	教育部	委託課名	教育振興課
3 事業名	印刷物有償頒布事務業務委託（学校開放）		
4 事業概要	印刷物有償頒布事務業務委託（市役所）		
5 事業の目的	学校開放施設使用券の販売業務委託		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input checked="" type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	263 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市と事業所との連携により適正迅速に実施できた。				
4	<所管課自由記入欄>  受託事業者が適正な販売・事務処理等対応ができるよう、連携を取りながら今後も効果的な協働を進めていきます。 学校開放団体を対象とした事業内容において市民協働による事業の充実を目指すことで、よりよい事業展開を図っていきたいと考えています。				

教育振興課長

1 受託団体名	特定非営利活動法人シーズネットワーク	代表者名	岡本 光子
2 委託部名	教育部	委託課名	永山公民館
3 事業名	保育実施業務委託		
4 事業概要	永山公民館主催事業実施に伴う保育業務		
5 事業の目的	乳幼児を育てている市民が公民館での学習活動に参加できる機会を提供するため		
6 募集方法	一般公募※1	レ 限定公募※2	指名選定※3 其他
7 選定方法	企画提案	レ 見積競争	特命随契 其他
8 決算額	485 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>子育て講座や市民企画講座に伴う一時保育を多くの市民に利用していただき、子育て中の母親の学習機会に寄与することができたことは、当会の「子育て支援」「女性の社会参画支援」の活動目的にも沿っています。公民館の一時保育を利用する保護者の要望や傾向は年々変化があり、また市民企画講座を企画する団体そのものにも変化がありますが、つど公民館ご担当者と相談しながら事業を進めていくことができました。今後も保育の実態に合わせて、公民館とこまやかな連携を行いつつ、より良い保育ができればと考えています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>本事業については、受託団体と常にコミュニケーションを取り、利用者がより安心して預けていただける保育を目標に実施している。受託団体には、団体の特性、経験を十分に発揮していただき、子どもたち一人ひとりに対して向かい合い、利用者の安全を常に考えながら保育業務を実施していただいた。このように、受託団体との連携により、事業の目的を共有し目標を達成することができた。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

永山公民館長

1 受託団体名	NPO法人多摩子ども劇場	代表者名	春田 祐子
2 委託部名	教育部	委託課名	永山公民館
3 事業名	子育てつどいの広場企画運営事業業務委託		
4 事業概要	子育て期の親子が地域で安心して自由に過ごせるあそびの広場を実施する		
5 事業の目的	子育てをしている親たちが、安心して過ごす事のできる場で、悩みや不安を軽減・解消する。地域の情報を得ながら、子育てネットワークをつくるきっかけを提供する。		
6 募集方法	<input type="checkbox"/> 一般公募※1	<input checked="" type="checkbox"/> 限定公募※2	<input type="checkbox"/> 指名選定※3 <input type="checkbox"/> その他
7 選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 企画提案	<input type="checkbox"/> 見積競争	<input type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	518 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  開催日の終了時には、当日の様子など情報共有する時間が取れているためとてもやり易く安心して実施する事ができました。 ミニイベントを実施するにあたり、今年度も多摩市の保育園園長会に依頼をして頂き沢山の保育園に参加して頂く事ができ、参加者にとっても地域の保育園が身近に感じられる機会になりました。 受託団体だけでは実施することが出来ない夏の水遊びなど、協働指定受託事業だからこそ実施できる事だと感じています。				
4	<所管課自由記入欄>  本事業は、受託団体を企画提案方式により、提案内容を審査の上決定しており、当該団体は平成24年度より今年度で7年目となる。本年度も受託団体には、利用者がより安心して利用いただける広場を目標に団体の特性、経験を十分に発揮していただき、利用者への情報提供、安全を常に考えながら事業を実施していただいた。これにより、本事業は”子育てひろば”として定着しつつあり、利用者も気軽に安心して広場での交流ができています。また、受託団体だけでなく市内の保育園や子育てに関する団体などにも、ミニイベントの協力等支援をいただいております。受託団体と相互の関係性もスムーズである。市内子育て機関との連携、受託団体と常にコミュニケーションを取ることで事業の目的を共有し、目標を達成することができた。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

永山公民館長



1 受託団体名	特定非営利活動法人 子育て応援団そらいろのたね	代表者名	山口 圭子
2 委託部名	教育部	委託課名	関戸公民館
3 事業名	保育実施業務委託		
4 事業概要	関戸公民館主催講座等開催に伴う保育業務		
5 事業の目的	保育付き講座の開催による、未就学のお子さんがある市民への学習機会の提供並びに学習活動の支援		
6 募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一般公募※1	<input type="checkbox"/> 限定公募※2	<input type="checkbox"/> 指名選定※3
7 選定方法	<input type="checkbox"/> 企画提案	<input checked="" type="checkbox"/> 見積競争	<input type="checkbox"/> 特命随契
8 決算額	74 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えば はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>保育を通して子育て期の母親の学習や社会参加を応援することは私たちの活動の目的でもあります。公民館の担当者と連携して、より良好な保育環境のもとで保育することができたと思っています。保育を利用する子どもたちが安心して楽しく過ごせる時間になるよう、常に情報を共有しながら協働していきたいと考えています。また、子育て期の母親が参加できる企画の提案も行っていければと考えています。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>仕様書に基づき、適切に本業務が遂行されました。平成30年度は市民企画講座、子育て安心講座、家族を考える講座を保育付きで開催したことにより、本業務の目的である未就学のお子さんがある市民への学習機会の提供並びに学習活動の支援を図ることができました。開催する講座の性質上、年度により保育実績にはばらつきがありますが、受託者・委託者共に良好な保育環境の提供に努めるという共通認識の上に立ち、協働できていると理解しています。今後も保育室内の整備や玩具の補充を含め、適切な保育環境の維持に努めると共に、貴団体が長年の活動で培われた経験・実績を発揮いただくことにより、引き続き市民協働による本業務の実施を目指したいと考えます。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

関戸公民館長

1 受託団体名	特定非営利活動法人 国際社会貢献センター	代表者名	理事長 岩城 宏斗司
2 委託部名	教育部	委託課名	教育センター
3 事業名	適応指導業務委託		
4 事業概要	市立小・中学校に在籍し、日本語の理解が不十分な外国籍、帰国児童・生徒等に対し、学習及び学校生活に、円滑に適応できるよう指導を行う（母語等による指導）。		
5 事業の目的	対象児童・生徒ができるだけ早く日本語や文化等を習得し、学習や学校生活に、円滑に適応できるよう支援すること。また、その保護者に対し、必要に応じて通訳を行う。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 <input checked="" type="checkbox"/> その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	<input checked="" type="checkbox"/> 特命随契 <input type="checkbox"/> その他
8 決算額	1,530 千円		
9 契約期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えは はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えは はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えはいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えはいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えは はい	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> どちらかと言えは はい
		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えはいいえ	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> どちらかと言えはいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>指導を担当する会員は、海外経験が豊富で外国人とのコミュニケーションの仕方を熟知しており、又多くが対象児童・生徒の母国語も出来る事から、それら児童・生徒が日本社会と学校に出来るだけ早く適応して快適に勉学・生活できるよう、日本語の学習や日本人との交流の仕方等指導している。会員にとっても非常にやりがいのある仕事と感じ、誠意を持って推進している。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>日本語を理解することが困難な子どもに対し、日本の文化や学校での過ごし方など、その子が必要としている目の前の不安や課題を、講師と教員が協力し、子どもに寄り添う形で指導を行っている。 適応指導を終えるころには、その子どもたちが、少しずつ日本の学校に適応できるようになってきていることから、母語での適応指導は重要だ。 また、適応指導を受けている子の保護者に対し、面談等で通訳として関わっていただいた。これによって、学校と保護者間で円滑なコミュニケーションを図ることが可能となった。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

教育センター長

1 受託団体名	多摩市国際交流センター	代表者名	理事長 加藤 晃章
2 委託部名	教育部	委託課名	教育センター
3 事業名	適応指導業務委託		
4 事業概要	市立小・中学校に在籍し、日本語の理解が不十分な外国籍、帰国児童・生徒等に対し、学習及び学校生活に円滑に適応できるよう指導を行う。		
5 事業の目的	対象児童・生徒ができるだけ早く日本語や文化等を習得し、学習や学校生活に、円滑に適応できるよう支援すること。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	指名選定※3 レ その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ 特命随契 その他
8 決算額	552 千円		
9 契約期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課 (所管課記入)	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
<受託団体自由記入欄>					
1、委託契約事業の延長					
学習や学校生活に円滑に適応できるように支援することを目標に取り組んでいる。従来の30単位が今年度より35単位に正式に認められたことは大変ありがたいが、それもある程度の日常会話はできても、学習用語を理解して学校生活に適応するには難くまだ不十分なケースが多い。2015年より学校、保護者、TICが話し合い 指導の延長が必要と合意された場合はTICがボランティアで35回以降も指導を継続してきている。					
3	このボランティア指導は、TIC以外(ABIC他)で指導を受けた指導生徒も対象としている。				
2、ボランティア指導の認知					
このボランティア指導については、委託契約事業でないため認知していない学校や、活用することを躊躇する学校もある。昨年度は7校からの、依頼があり徐々に認知されつつあるが、十分にこの活動を活かすために教育センターの理解と支援をお願いしたい。今後とも、適応指導を必要としている児童生徒の支援をしていきたいと考えている。					
<所管課自由記入欄>					
TICにおいては、ある程度日本語が理解できる、外国籍または帰国児童生徒に対し、日本語による日本語の指導をお願いしている。					
4	学校の授業とは別に、日本の習慣・文化、基礎的な日本語の使い方について、学習を補助することが可能であると考えている。今後も、学校が主体となり、児童・生徒が学校生活や授業に適応できるよう、TICにご協力いただきたいと考えている。				
また、当事業を30回(延長は別途5回)終了後も、TICの独自事業であるボランティアでの日本語指導を多摩市立小中学校の児童生徒に実施していただいている。これについては、教育センターから学校へも周知しているところであり、学校も利用させていただいている。引き続き、教育センターとしても、学校への周知を行っていく。					

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

教育センター長

1 受託団体名	音訳グループ 繭	代表者名	銭廣 芳子
2 委託部名	選挙管理委員会事務局	委託課名	選挙管理委員会事務局
3 事業名	声の選挙公報作成等業務委託（市長選挙）		
4 事業概要	多摩市長選挙のたま広報選挙特集号及び選挙公報の内容をCDに録音・複製し、希望する視覚障がい者へ郵送する。		
5 事業の目的	候補者の氏名、経歴、政見等の情報の共有化を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	レ 指名選定※3 その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ 特命随契 その他
8 決算額	29 千円 ※声の選挙公報作成及び複製・郵送業務委託(多摩市議会議員補欠選挙)と併合契約		
9 契約期間	平成 30年 4月 5日 ~ 平成 30年 4月 10日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<受託団体自由記入欄>  市長選挙の選挙公報の作成は告示から投票日までの期間が短く、時間の制約と候補者の主張を正確に伝えるという、緊張する作業でした。選挙公報は、私たちの暮らしに欠かせない情報です。利用者の方に正確でわかりやすい情報を早くお届けできるように、これからもつとめて行きたいと思っております。				
4	<所管課自由記入欄>  選挙の都度、選挙公報の内容をCDに録音・複製し、希望する視覚障がい者へ郵送する業務を、柔軟・迅速に対応いただいているおかげで、これまでどおり視覚に障がいがある人もない人も同じ情報を共有することができたと考えています。				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

選挙管理委員会事務局長

1 受託団体名	音訳グループ 繭	代表者名	銭廣 芳子
2 委託部名	選挙管理委員会事務局	委託課名	選挙管理委員会事務局
3 事業名	声の選挙公報作成等業務委託（市議会議員補欠選挙）		
4 事業概要	多摩市議会議員補欠選挙のため広報選挙特集号及び選挙公報の内容をCDに録音・複製し、希望する視覚障がい者へ郵送する。		
5 事業の目的	候補者の氏名、経歴、政見等の情報の共有化を図る。		
6 募集方法	一般公募※1	限定公募※2	レ 指名選定※3 その他
7 選定方法	企画提案	見積競争	レ 特命随契 その他
8 決算額	29 千円 ※声の選挙公報作成及び複製・郵送業務委託（多摩市長選挙）と併合契約		
9 契約期間	平成 30年 4月 5日 ～ 平成 30年 4月 10日		

※1広報等で広く募集する ※2多摩市協働委託事業契約・市民団体等登録名簿搭載団体の範囲内で募集 ※3特定の団体を複数指名

この報告は、協働事業をともに進めていくパートナーである市と市民活動団体が、協働事業のスタートから終了までにおける振り返りを相互に行って、次年度以降のより良い協働事業に活かしていくことを目的に行うものです。  
そのため、この回答が履行状況の評価に直接結びつくものではありません。

VI 事業終了後のふりかえり		受託団体		委託課（所管課記入）	
1	事業の目的は共有できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
2	事業の目的は達成できましたか	レ はい	どちらかと言えば はい	レ はい	どちらかと言えば はい
		いいえ	どちらかと言えばいいえ	いいえ	どちらかと言えばいいえ
3	<p>&lt;受託団体自由記入欄&gt;</p> <p>市議会議員補欠選挙の選挙公報の作成は告示から投票日までの期間が短く、時間の制約と候補者の主張を正確に伝えるという、緊張する作業でした。選挙公報は、私たちの暮らしに欠かせない情報です。利用者の方に正確でわかりやすい情報を早くお届けできるように、これからもつとめて行きたいと思えます。</p>				
4	<p>&lt;所管課自由記入欄&gt;</p> <p>選挙の都度、選挙公報の内容をCDに録音・複製し、希望する視覚障がい者へ郵送する業務を、柔軟・迅速に対応いただいているおかげで、これまでどおり視覚に障がいがある人もない人も同じ情報を共有することができたと考えています。</p>				

上記のとおり多摩市市民団体等との協働推進会議に報告するとともに、受託団体に写しを渡します。

選挙管理委員会事務局長

## 5 主要データからわかること

集計表およびグラフは、下記の3種類となっています。

- 【新規用】 【継続用】 共通設問

事業の募集方法・選定方法

- 【新規用】 設問

事業の着手・実施・終了後について（P.8参照）

- 【継続用】 設問

事業終了後のふりかえり（P.8参照）

平成30年度の協働指定委託事業は、48事業（68契約）です。グラフを見ていくと受託団体の募集方法は「その他」が45件と半数以上を占め、次いで、広報等で広く募集する「一般公募」が12件となっています。選定方法は、特命随意契約で実施された事業が35件と最多数であり市民団体の専門性を重視している傾向が続いています。

市民団体と市（行政）は価値観や行動原理が異なります。それぞれの立場を理解・尊重し、コミュニケーションを図りながら双方の特性を活かすことが大切です。

平成30年度協働指定委託事業報告書の集計結果より、新規事業、継続事業ともに、事業の目的が共有でき、また、目的も達成されたと受託団体、委託課双方とも回答しています。

しかし、新規事業では、「Ⅲ-2 今後の課題と改善策をお互いに話し合いましたか」との問いに「はい」と答えたのは受託団体7団体中4団体、「Ⅳ-2 本事業を実施する中で、貴団体の対外的な信用度が高まった、契約実務の要領が把握できるようになった、など、貴団体にとってのメリットはありましたか」との問いに「はい」と答えたのは7団体中2団体、「Ⅳ-3 行政と協働することで、協働のすすめ方の要領が得られ、認識が深まりましたか」との問いに「はい」と答えたのは7団体中2団体でした。

一方、「Ⅴ-1 本事業を協働指定委託事業としたことにより、その団体の特性を活かし、かつ、きめ細かい行政サービスを提供できましたか」との問いに「はい」と答えた委託課は7課中6課、「Ⅴ-2 協働指定委託事業をすすめる中で、市民団体等との協働について認識が深まり、新たな協働が生まれるなど、市民協働が定着し、広がってきたと感じますか」との問いに「はい」と答えたのは7課中6課でした。

以上の結果から、新規事業においては、受託団体と委託課との間で成果に対する認識にギャップが生じていることが読み取れます。そのため、受託団体、委託課ともに協働の意義、協働指定委託事業の趣旨について認識を共有し、対話を重ねながら事業に取り組んでいくことができるよう、受託団体及び委託課に対しヒアリング調査を実施する等、まずは協働指定委託事業に対する認識や課題について現状を把握し、協働の進め方について見直しを図っていく必要があります。

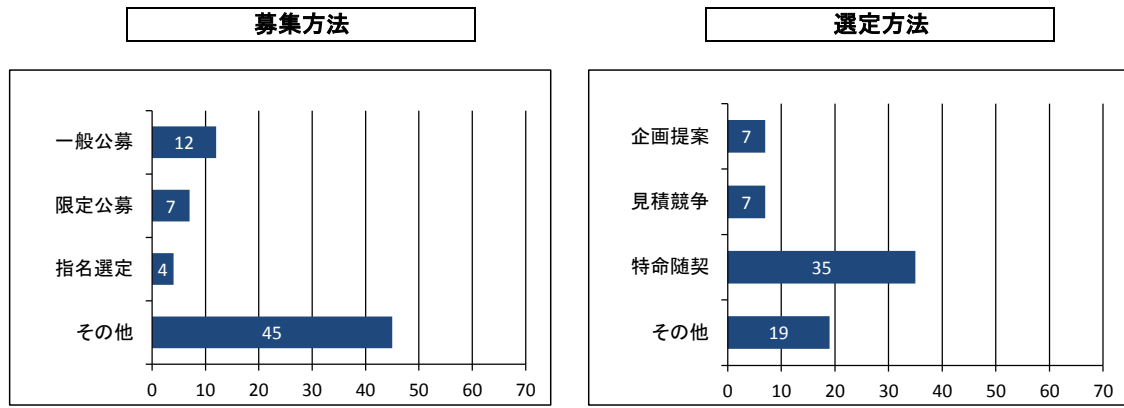


平成30年度 協働指定委託事業報告書集計表

募集方法	一般公募	限定公募	指名選定	その他	X
	12件	7件	4件	45件	
選定方法	企画提案	見積競争	特命随契	その他	
	7件	7件	35件	19件	

新規集計	受託団体				委託課(所管課)			
	企画段階	実施段階	その他	-	企画段階	実施段階	その他	-
I-1	0件	7件	0件	-	0件	7件	0件	-
I-2	市民活動団体	市(行政)	その他	-	市民活動団体	市(行政)	その他	-
I-3	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
I-5	はい 7件	どちらかと 言えばはい 0件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
I-6	はい 5件	どちらかと 言えばはい 2件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 5件	どちらかと 言えばはい 2件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
I-7	はい 5件	どちらかと 言えばはい 2件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
II-1	はい 7件	どちらかと 言えばはい 0件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 7件	どちらかと 言えばはい 0件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
II-2	はい 5件	どちらかと 言えばはい 2件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
II-3	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
III-1	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 7件	どちらかと 言えばはい 0件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
III-2	はい 4件	どちらかと 言えばはい 3件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	はい 4件	どちらかと 言えばはい 3件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件
IV-1	はい 5件	どちらかと 言えばはい 2件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件	X			
IV-2	はい 2件	どちらかと 言えばはい 4件	どちらかと 言えばいいえ 1件	いいえ 0件				
IV-3	はい 2件	どちらかと 言えばはい 5件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件				
V-1	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件				
V-2	はい 6件	どちらかと 言えばはい 1件	どちらかと 言えばいいえ 0件	いいえ 0件				

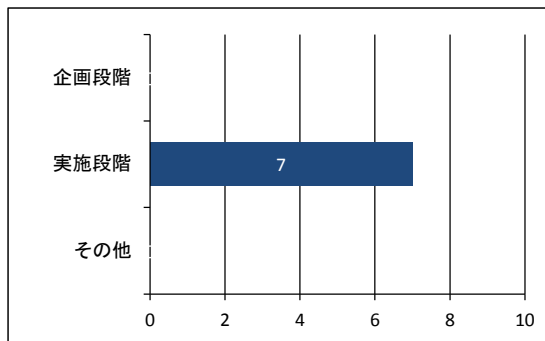
継続集計	受託団体				委託課(所管課)			
	はい	どちらかと 言えばはい	どちらかと 言えばいいえ	いいえ	はい	どちらかと 言えばはい	どちらかと 言えばいいえ	いいえ
VI-1	61件	0件	0件	0件	61件	0件	0件	0件
VI-2	59件	2件	0件	0件	60件	1件	0件	0件



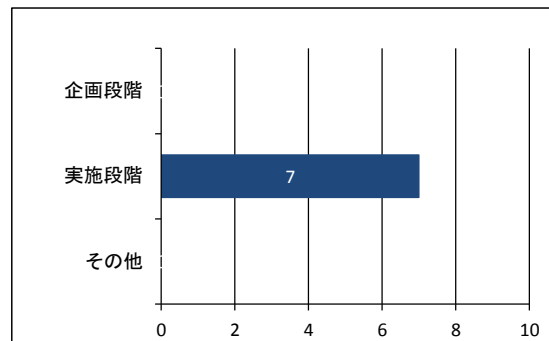
・新規協働指定委託事業報告書の集計 7件

I 事業の着手段階について

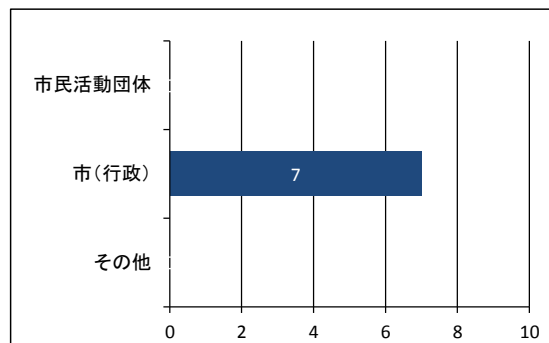
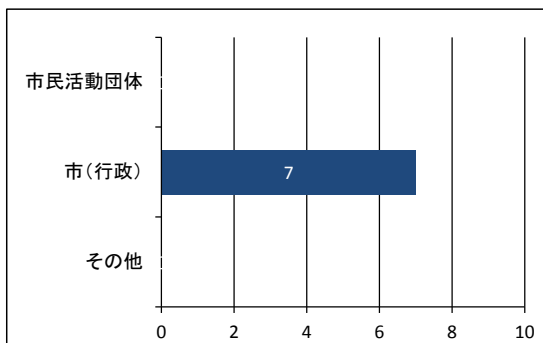
《受託団体》  
I-1 協働が開始された段階はいつですか



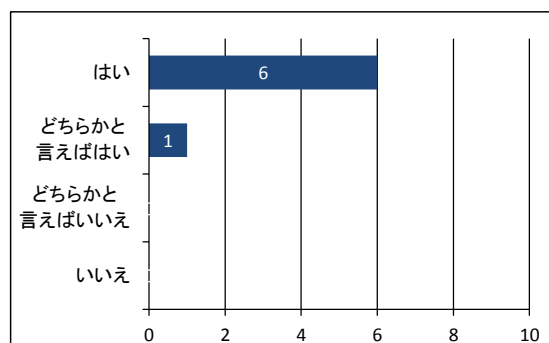
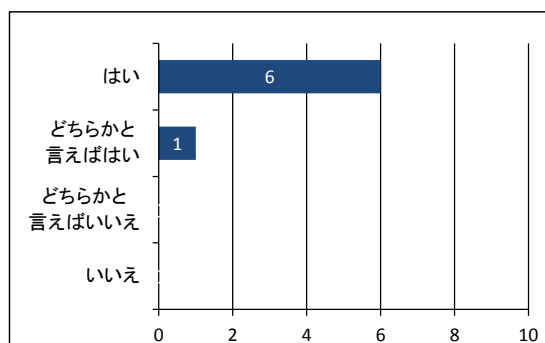
《委託課(所管課)》



I-2 協働の呼びかけはどちらからですか



I-3 協働する理由は明確ですか

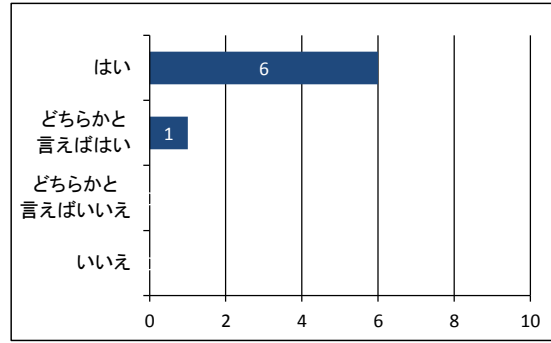
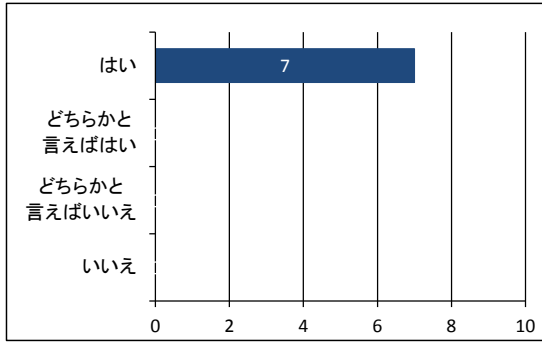




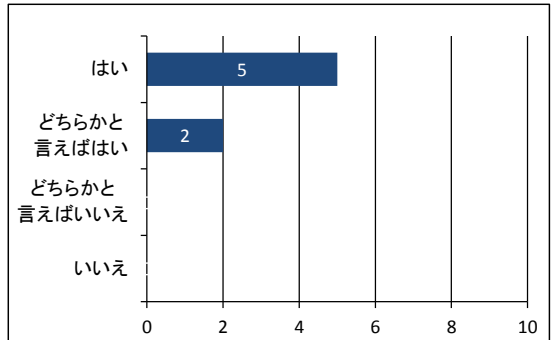
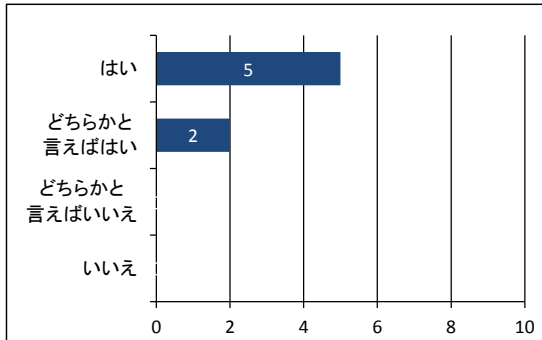
《受託団体》

《委託課(所管課)》

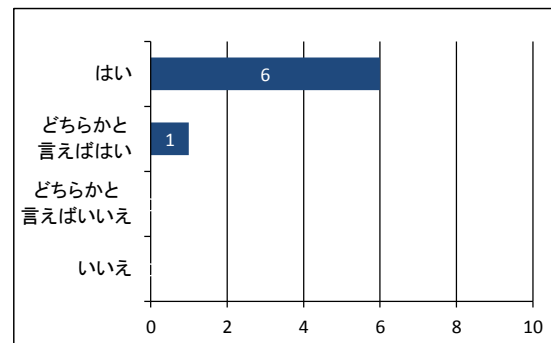
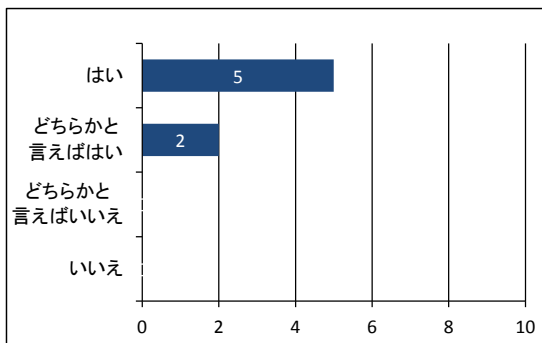
I-5 事業の目的・成果目標を共有できましたか



I-6 事業に着手するにあたり、相互の役割を話し合う場と機会がもてましたか



I-7 委託団体を選んだ(選ばれた)理由は明確ですか

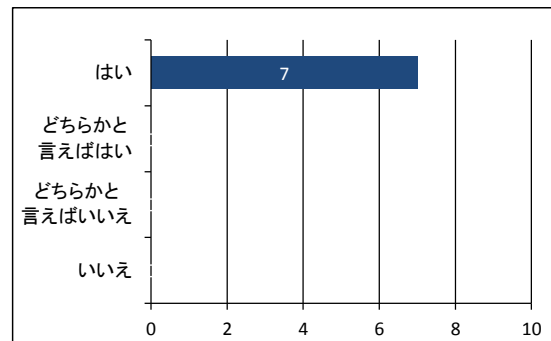
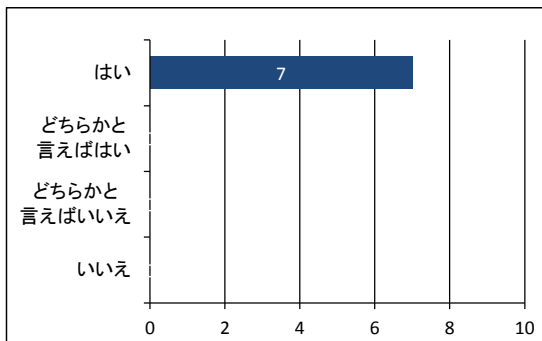


II 事業の実施段階について

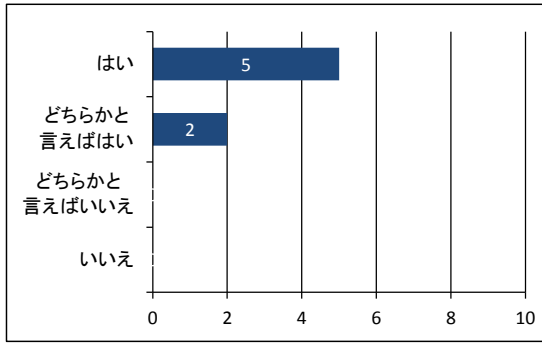
《受託団体》

《委託課(所管課)》

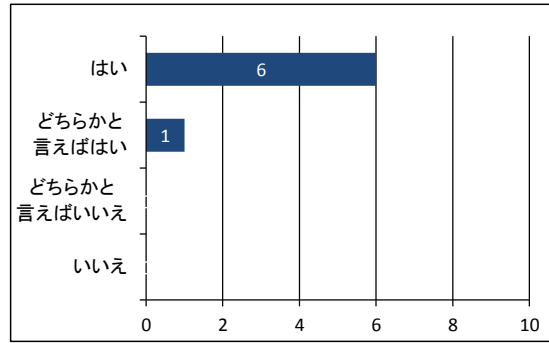
II-1 役割分担をともに共有し、果たしましたか



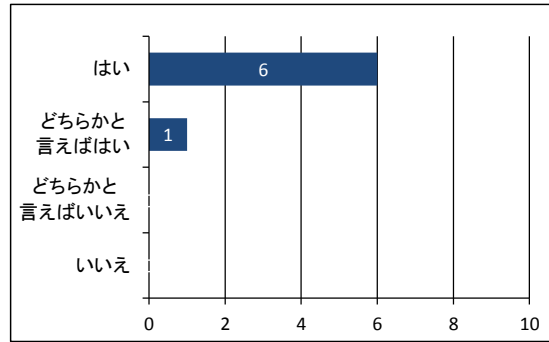
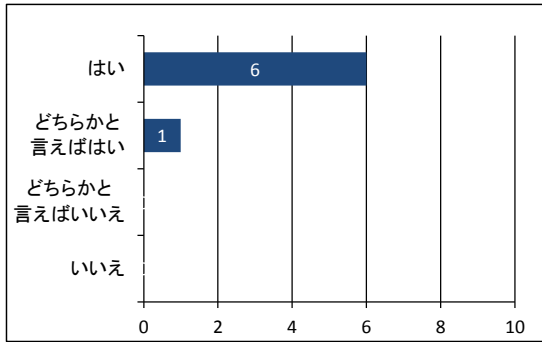
《受託団体》  
**Ⅱ-2 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか**



《委託課(所管課)》

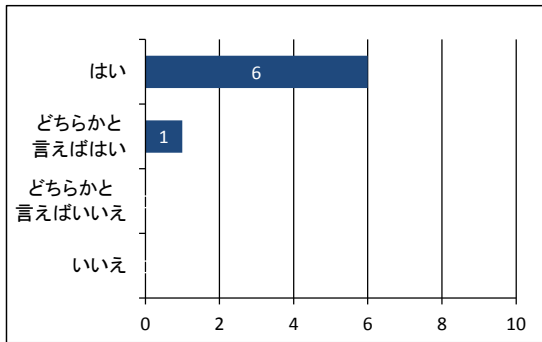


**Ⅱ-3 常にコミュニケーションをとりながら事業をすすめましたか**

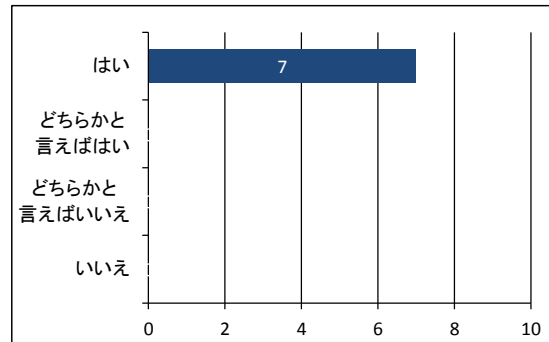


**Ⅲ 事業の終了後について**

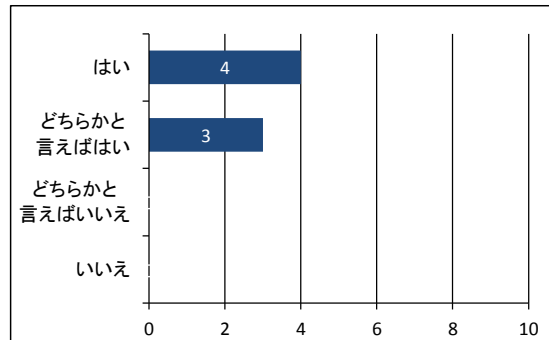
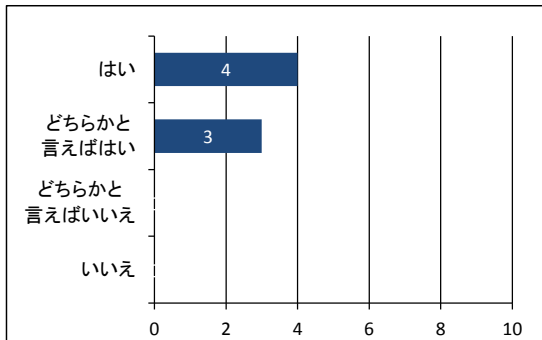
《受託団体》  
**Ⅲ-1 事業の目的・成果目標は達成できましたか**



《委託課(所管課)》

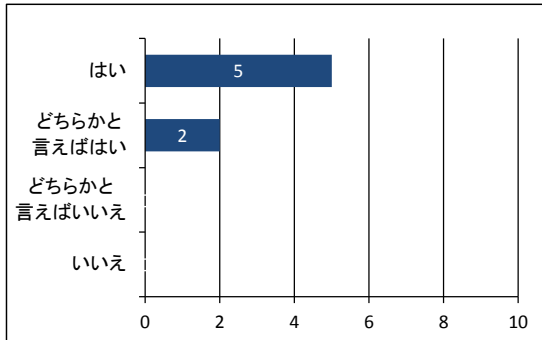


**Ⅲ-2 今後の課題と改善策をお互いに話し合いましたか**

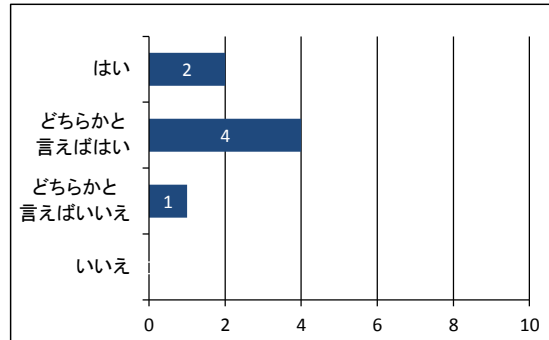


これまでの振り返り(受託団体)

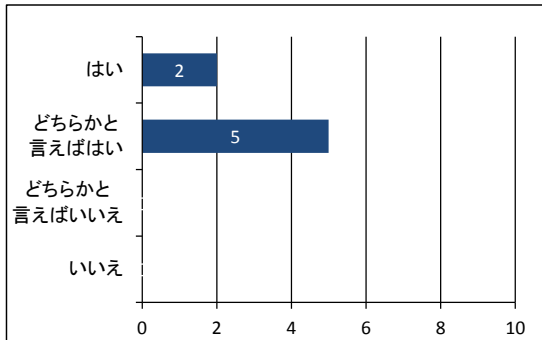
1 本協働指定委託事業の実施にあたり、貴団体の特性を活かすことができましたか？



2 本事業を実施する中で、貴団体の対外的な信用度が高まった、契約実務の要領が把握できるようになった、など、貴団体にとってのメリットはありましたか？

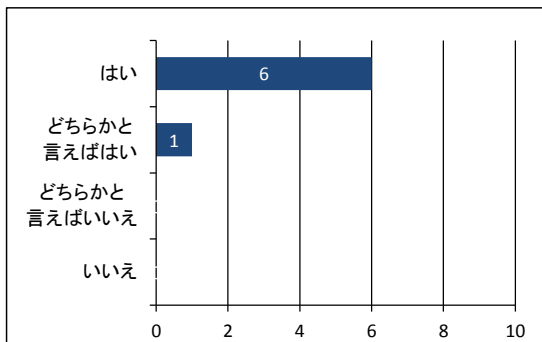


3 行政と協働することで、協働のすすめ方の要領が得られ、認識が深まりましたか？

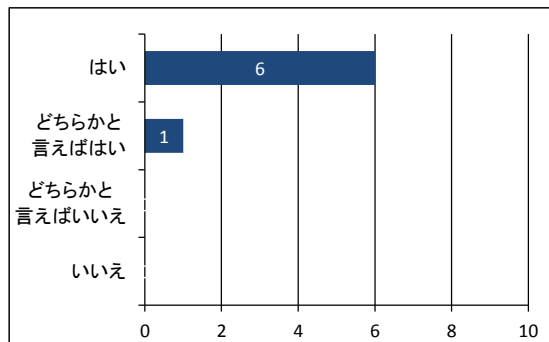


これまでの振り返り(所管課)

1 本事業を協働指定委託事業としたことにより、その団体の特性を活かし、かつ、きめ細かい行政サービスを提供できましたか？



2 協働指定委託事業をすすめる中で、市民団体等との協働について認識が深まり、新たな協働が生まれるなど、市民協働が定着し、広がってきたと感じますか？

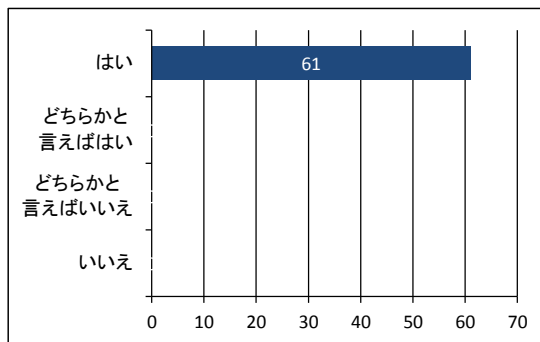
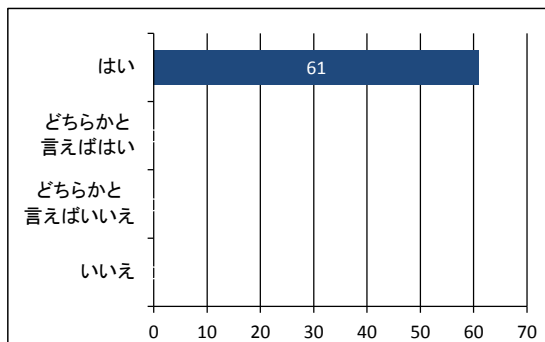


事業終了後の振り返り

《受託団体》

《委託課(所管課)》

1 事業の目的は共有できましたか



2 事業の目的は達成できましたか

